

RPSJ NETWORK

Railway Preservation Society of Japan

日本鉄道保存協会 総会 2018

2018(平成 30)年 9 月 21 日(金)～22 日(土)

小坂鉄道レールパーク (秋田県小坂町)



ブルートレイン「あけぼの」と小坂駅

明日の鉄道保存運動のために

災害と異常な暑さに終始した夏が終わりました。会員団体の中にも、これら天変地異の影響を受けたところが少なくないと思いますが、困難を乗り越えて前進されるよう、心からお祈り申し上げます。

あと4年で、鉄道創業150年を迎えます。この間日本の鉄道は、1906年の鉄道国有化、1949年の日本国有鉄道発足、1987年の国有鉄道改革と、ほぼ40年ごとに大きな変革を経験しながら、発展を続けてきました。そして、日本鉄道保存協会も、発足して早くも27年が経ちました。

日本鉄道保存協会が発足した1991年、日本経済のバブルがはじけ、長いデフレと低迷の時代に移りました。いま、失われた20年などともいわれる時代ですが、幸いにも鉄道保存の活動は着実に進展し、協会の会員数も増えてきたのは、日本の近代化を牽引し、戦後復興と成長を支えてきた鉄道文化遺産を保存・活用しようという協会の活動が、時代の潮流に合致したからだと言えましょう。多くの日本人が、かつての成長と繁栄の時代の復活を願いながらも、物質面だけでなく精神面の安定、文化的価値の豊かさを求めており、私たちの活動はこうした人々の願いに沿うものであるからです。

しかし、私たちはこの現状に満足してはなりません。これからの時代を生き抜き、さらに発展するためには、日本の鉄道保存運動も一段と成長することが必要です。ここであえて「運動」といったのは、鉄道文化遺産の保存・活用という目的を達成するためには、絶えずあらゆる方向に向かって、継続的に活動することが必要だからです。その前提として、保存協会の活動も「誰かがやってくれる」という人任せではなく、個々の会員が主体性をもって全体を支え、前進させる体制をつくる必要があります。

今後の発展のためには、組織体制の整備、財政基盤の確立、そして何よりも求められている人材の若返り、という三つの大きな課題を解決しなければなりません。会員各位が鉄道保存運動の原点に立ち返り、この問題を人任せにせず、自分の問題として考えてくださることを切望します。

2018（平成30）年9月21日

日本鉄道保存協会 代表幹事団体
公益財団法人交通協力会 会長

菅 建 彦

日本鉄道保存協会 2018 年度総会・見学会プログラム

日 程 2018 年 9 月 21 日（金）～22 日（土）

開 催 地

総 会 小坂町交流センター・セパーム（秋田県鹿角郡小坂町）
交流会 同 上
宿 泊 小坂鉄道レールパーク「ブルートレインあけぼの」（同）
ホテル 小坂ゴールドパレス（同）

9 月 21 日（金）

13：00 小坂町交流センター・セパームで受付開始
14：00 開会挨拶 代表幹事団体・公益財団法人交通協力会 会長
菅 建彦
来賓挨拶 小坂町長 細越 満 様
総 会 （会場：セパーム 2 階 ホール 1）
14：40 休 憩
15：00 基調講演「鉱山鉄道の魅力ー小坂鉄道と山内電車鉄道ー」
小坂町役場 町史編さん室 室長 亀沢 修 氏
15：40 開催地報告 小坂鉄道保存会 会長 千葉 裕之 氏
16：10 休 憩
16：20 シンポジウム「近代化遺産としての鉄道を活かしたまちづくりと観光」
パネリスト 新津鉄道資料館 水澤喜代志 氏
東武博物館 名誉館長 花上 嘉成 氏
長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会
敦賀市役所 観光振興課長 大南 祐之 氏
小坂鉄道保存会 会長 千葉 裕之 氏
コーディネーター 日本鉄道保存協会 事務局長 米山 淳一
17：20 総会終了
17：30 交流会 （会場：セパーム 2 階 ホール 2）
19：00 交流会終了 徒歩で移動
19：30 懇談会 （会場：レールパーク「ブルートレインあけぼの」3 号車）
21：00 懇談会終了 徒歩で宿泊先へ移動

9月22日(土)

- 07:30 宿泊先へ朝食配布 (JR 大館駅駅弁「鶏めし弁当」)
- 08:40 小坂鉦山事務所前に集合 明治百年通り見学 (小坂鉦山事務所・康楽館ほか)
- 09:30 小坂鉄道レールパーク園内見学
「ブルートレインあけぼの」乗車体験 (構内約 150mを往復運行)
- 10:30 小坂鉄道レールパーク出発 (大型バス 2 台)
- 11:30 史跡・尾去沢鉦山見学 (坑内外にバッテリーロコ、鉦車等を展示)
- 12:30 昼食会場に移動
- 12:40 道の駅「あんとらあ」で昼食 (きりたんぼ鍋)・買い物
- 13:50 出 発
- 14:00 JR 花輪線 鹿角花輪駅前到着 自由解散
JR 花輪線 鹿角花輪駅 14:28 発→IGR 盛岡駅 16:27 着
高速バスみちのく号 鹿角花輪駅前 14:53 発→盛岡駅西口 16:19 着

以 上

日本鉄道保存協会（RPSJ）2018年度総会 出欠一覧表

平成30年9月26日 現在

資 格	所 属	役 職	氏 名	総会	交流会	宿泊	見学会
顧 問	東京学芸大学	名誉教授	青木 栄一		欠	席	
顧 問	東京女子大学	名誉教授	小池 滋		欠	席	
顧 問	一般財団法人 東武博物館	理事 名誉館長	花上 嘉成	○	○	GP	○
顧 問	公益財団法人 交通協力会	会 長	菅 建彦	○	○	GP	○
顧 問	OFFICE NATORI	代 表	名取 紀之		欠	席	

正会員	遠軽町（旧丸瀬布町）	丸瀬布総合支所産業課			欠	席	
正会員	陸別町商工会（ふるさと銀河線りくべつ鉄道）	事務局長	杉本 武勝	○	○	A	○
正会員	NPO法人 ひがし大雪アーチ橋友の会				欠	席	
正会員	三笠市				欠	席	
正会員	三菱大夕張鉄道保存会				欠	席	
正会員	北海道旅客鉄道株式会社（JR北海道）				欠	席	
正会員	一般社団法人 南部縦貫レールバス愛好会				欠	席	
正会員	七百レールファンクラブ	副会長	野田 悟	○	○	B	○
正会員	小坂鉄道保存会	会 長	千葉 裕之	○	○	自	○
正会員	小坂鉄道保存会	副会長	吉野 幸裕	○	○	自	○
正会員	小坂鉄道保存会	副会長	岩澤 秀一	○	○	×	×
正会員	小坂鉄道保存会	総務企画局長	亀沢 修	○	○	自	○
正会員	小坂鉄道保存会	総務企画局次長	寺山 好典	○	○	自	○
正会員	小坂鉄道保存会	会計監査	川合 宏幸	○	○	自	○
正会員	小坂鉄道保存会	会計監査	長瀬 勇一	○	○	自	○
正会員	小坂鉄道保存会	会員	吉野千鶴子	○	○	自	○
正会員	小坂鉄道保存会	会員	大谷 清次	○	○	自	○
正会員	小坂鉄道保存会	会員	中村 和之	○	○	自	○
正会員	小坂鉄道保存会	会員	小野寺雄太	○	○	自	○
正会員	小坂鉄道保存会	会員	木村 和徳	○	○	自	○
正会員	小坂鉄道保存会	会員	木村 則彦	○	○	×	×
正会員	小坂鉄道保存会	会員	野本 浩史	○	○	×	×
正会員	栗原市	学芸員	鍋嶋 貴之	○	○	自	○
正会員	栗原市	学芸員	大杉 要	○	○	自	○
正会員	真岡線SL運行協議会	事務局長	高橋 則夫	○	○	A	○
正会員	NPO法人 足尾歴史館		遠藤 哲夫	○	○	A	○
正会員	NPO法人 足尾歴史館		須永 秀夫	○	○	B	○
正会員	鹿島鉄道保存会				欠	席	
正会員	鉾田駅保存会	理 事	川津 重夫	○	○	B	○
正会員	ザ・ヒロサワ・シティ （レールパーク）	施設長	大久保 勉	○	○	A	○
正会員	ザ・ヒロサワ・シティ （レールパーク）	技術主任	高橋 政士	○	○	A	○
正会員	ザ・ヒロサワ・シティ （レールパーク）	電気主任	小川 知宏	○	○	A	○
正会員	碓氷峠鉄道文化むら				欠	席	
正会員	デハ3499号車保存会	代 表	日暮 成一	○	○	B	○
正会員	日本工業大学				欠	席	
正会員	秩父鉄道株式会社				欠	席	
正会員	東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）				欠	席	
正会員	公益財団法人 東日本鉄道文化財団	副館長	石田 見	○	×	×	×
正会員	一般財団法人 東武博物館	理事 名誉館長	花上 嘉成				顧問に記載
正会員	公益財団法人 日本ナショナルトラスト				欠	席	
正会員	公益財団法人 交通協力会	会 長	菅 建彦				顧問に記載
正会員	公益財団法人 交通協力会	理事長	上野 文雄	○	×	×	×
正会員	横浜市電1156号保存会				欠	席	
正会員	新潟市新津鉄道資料館	副館長	水澤喜代志	○	○	GP	○
正会員	上松町（赤沢森林鉄道）				欠	席	
正会員	虹の郷（一般財団法人 伊豆市振興公社）				欠	席	
正会員	足久保鐵道株式会社				欠	席	
正会員	大井川鐵道株式会社				欠	席	
正会員	東海旅客鉄道株式会社（JR東海）リニア・鉄道館				欠	席	
正会員	博物館明治村（公益財団法人 明治村）				欠	席	
正会員	NPO法人 神岡・町づくりネットワーク		田口由加子	○	○	B	○
正会員	NPO法人 神岡・町づくりネットワーク		尾上 達也	○	○	B	○
正会員	NPO法人 神岡・町づくりネットワーク		七社 美博	×	×	×	○
正会員	長浜鉄道スクエア（公益社団法人 長浜観光協会）				欠	席	
正会員	長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会	課長	大南 祐之	○	○	GP	○
正会員	貨物鉄道博物館				欠	席	

資 格	所 属	役 職	氏 名	総会	交流会	宿泊	見学会
正会員	西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）			欠 席			
正会員	公益財団法人 交通文化振興財団		川端 英登	○	×	自	
正会員	加悦SL広場（宮津海陸運輸株式会社）	管理課長	柴田万喜也	○	○	GP	○
正会員	NPO法人 加悦鐵道保存会	副理事長	中井 喜宏	○	○	GP	○
正会員	片上鐵道保存会	業 務	森岡 誠治	○	○	B	○
正会員	片上鐵道保存会	業 務	毎熊 晃	○	○	B	○
正会員	若桜駅を元気にする会			欠 席			
正会員	NPO法人 市民文化財ネットワーク鳥取			欠 席			
正会員	山口線SL運行対策協議会			欠 席			
正会員	西条市	四国鐵道文化館館長	加藤 圭哉	○	○	GP	○
正会員	馬路村			欠 席			
正会員	九州旅客鐵道株式会社（JR九州）			欠 席			
正会員	北九州線車両保存会	代 表	手嶋 康人	○	○	B	○

賛助会員	株式会社ネコ・パブリッシング			欠 席			
賛助会員	株式会社鐵道ジャーナル社			欠 席			
賛助会員	日本鐵道写真作家協会		猪井 貴志	○	○	GP	○
賛助会員	日本鐵道写真作家協会		梅木 隆秀	○	○	GP	○
賛助会員	有限会社 レイルマンフォトオフィス			欠 席			
賛助会員	北陸重機工業株式会社			欠 席			
賛助会員	有限会社鐵道フォーラム	代表取締役	伊藤 博康	○	○	B	○
賛助会員	有限会社鐵道フォーラム		中沢 幸裕	○	○	GP	○
賛助会員	株式会社片上鐵道			欠 席			
賛助会員	株式会社日本旅行			欠 席			
賛助会員	株式会社トレインプラン			欠 席			

友の会会員			赤羽 誠	○	○	GP	○
友の会会員			阿部 豊	○	○	B	○
友の会会員	イモンコーポレーション	代表取締役	井門 義博	○	○	A	○
友の会会員			岩野 弘一	○	○	A	○
友の会会員			河合 桃子	○	○	GP	○
友の会会員	東京地下鉄株式会社		倉繁 聡	欠 席			
友の会会員			柴山 純一	欠 席			
友の会会員	清水薫 レイルウェイフォトオフィス	代 表	清水 薫	欠 席			
友の会会員	トラベルライター		白川 淳	○	○	B	○
友の会会員			神野 清司	欠 席			
友の会会員			関本 康人	欠 席			
友の会会員			関田 克孝	欠 席			
友の会会員			橘 秀幸	○	○	A	○
友の会会員			田中 光一	欠 席			○
友の会会員			田中 浩史	○	○	B	○
友の会会員			長野 光芳	○	○	B	○
友の会会員			西尾 恵介	欠 席			
友の会会員			野田 知毅	欠 席			
友の会会員			藤井 修	欠 席			
友の会会員			水野 弥彦	欠 席			

オブザーバー	株式会社 ヤマネ	技術部課長	高見 浩	○	○	GP	○
オブザーバー			山崎 朗	○	○	GP	○
オブザーバー	株式会社ジェイアール四国企画	営業部長	松本 新一	○	○	A	○
オブザーバー	四国旅客鐵道株式会社	総合企画本部 地域連携室副長	早馬 直樹	○	○	GP	○
オブザーバー	江の川鐵道		吉田 悠生	○	○	B	○
オブザーバー	江の川鐵道		風呂本武典	○	○	B	○

ゲスト	小坂町長		細越 満	○	○	×	×
-----	------	--	------	---	---	---	---

事務局	日本鐵道保存協会	事務局長	米山 淳一	○	○	GP	○
事務局	日本鐵道保存協会	事務局	佐々木雅子	○	○	GP	○

宿泊 A・B:小坂鐵道レールパーク「ブルートレインあけぼの」A寝台個室、B寝台個室 GP:ホテル「小坂ゴールドパレス」 自:自己手配

日本鉄道保存協会 会員名簿

2018.09.13 現在

<凡 例>

番 号	団 体 名
〒	団体所在地 / 連絡先住所
	電話番号 / Fax 番号
	団体代表者名
	RPSJ 担当者名 (☆)

正 会 員

01 遠軽町（旧丸瀬布町）

〒099-0203 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町 115-2
遠軽町役場丸瀬布総合支所 産業課
Tel 0158-47-2213 Fax 0158-47-2128

町 長	佐々木修一
係 長	上戸 智仁 (☆)

02 陸別町商工会（ふるさと銀河線りくべつ鉄道）

〒089-4300 北海道足寄郡陸別町字陸別原野基線 69-1
Tel 0156-27-2244 Fax 0156-27-2791

会 長	石橋 強
副会長	山本 周二
事務局長	杉本 武勝 (☆)

03 NPO 法人 ひがし大雪アーチ橋友の会

〒080-1408 北海道河東郡上士幌町上士幌東 3 線 239
Tel 01564-2-3385 Fax 01564-2-3682

会 長	那須襄太郎
事務局長	角田 久和 (☆)

04 三笠市

〒068-2192 北海道三笠市幸町 2
三笠市役所 経済建設部商工観光課 商工観光係
Tel 01267-2-3997 Fax 01267-2-7880

市 長	西城 賢策
主 事	小栗 拳児 (☆)

05 三菱大夕張鉄道保存会

〒068-0855 北海道江別市大麻宮町 4-6
Tel 011-387-4783

会 長	奥山 道紀
事務局長	今井 一郎 (☆)

06 北海道旅客鉄道株式会社

〒060-8644 札幌市中央区北 11 条西 15-1-1
Tel 011-700-5785 Fax 011-700-5786

代表取締役社長	島田 修
運輸部運用課	関谷 太介 (☆)

07 一般社団法人 南部縦貫レールバス愛好会

〒133-0051 江戸川区北小岩 2-14-2-111 号
Tel 03-3672-7709

代表理事	星野 正博 (☆)
------	-----------

08 七百レールファンクラブ

〒336-0926 さいたま市緑区東浦和 7-4-12-103
Tel 070-6528-2629

会 長	斎藤 正
副会長	野田 悟 (☆)

09 小坂鉄道保存会

〒017-0202 秋田県鹿角郡小坂町小坂鉦山古川 20-9
小坂鉄道レールパーク気付
Tel 0186-25-8890 Fax 0186-29-2002

代 表	千葉 裕之
総務局長	亀沢 修 (☆)

10 栗原市

〒987-2252 宮城県栗原市築館薬師 1-7-1
栗原市役所企画部企画課
Tel 0228-22-1125 Fax 0228-22-0313

市 長	千葉 健司
企画部企画課	藤 圭一 (☆)

11 真岡線 SL 運行協議会

〒321-4415 栃木県真岡市下籠谷 4412
Tel 0285-82-9151 Fax 0285-82-9152

会 長 (真岡市長)	石坂 真一
事務局長	高橋 則夫
総務課長	小林 裕司
担 当	中山 文行 (☆)

12 NPO 法人 足尾歴史館

〒321-1523 栃木県日光市足尾町松原 2825
Tel・Fax 0288-93-0189

館 長	長井 一雄
トロッコ部	岡本 憲之 (☆)

13 鹿島鉄道保存会

〒113-0033 文京区本郷 5-25-16 石川ビル 11 階
株式会社パレア
Tel 03-5802-2755 Fax 03-3818-2700

代 表	加藤三千尋 (☆)
-----	-----------

14 鉾田駅保存会

〒310-0001 水戸市上河内町 162
Tel・Fax 029-239-6735

理 事	川津 重夫 (☆)
-----	-----------

15 ザ・ヒロサワ・シティ（レールパーク）

〒308-0811 茨城県筑西市茂田 ザ・ヒロサワ・シティ
株式会社広沢商事内
Tel 0296-21-1234 Fax 0296-24-7837

代 表	廣澤 清
担 当	野口 稔夫 (☆)

16 碓氷峠鉄道文化むら（一般財団法人 碓氷峠交流記念財団）

〒379-0301 群馬県安中市松井田町横川 407-16
Tel 027-380-4163 Fax 027-380-4111

代表理事	上原 有一
館 長	飯沼 勲
事務局長	瀧川 広 (☆)

17 デハ 3499 号車保存会

〒331-0802 さいたま市北区本郷町 313 蓮見住宅 C-3

代 表	日暮 成一 (☆)
-----	-----------

18 日本工業大学

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
日本工業大学工業技術博物館
Tel 0480-33-7545 Fax 0480-33-7570

学 長	成田 健一
館 長	松野 建一
講師・学芸員	丹治 明 (☆)

19 秩父鉄道株式会社

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町 1-1
Tel 048-523-3337 Fax 048-526-0551

代表取締役社長 大谷 隆男
技術部車両課 木村 壮史 (☆)

20 東日本旅客鉄道株式会社

〒151-8578 渋谷区代々木 2-2
Tel 03-5334-1352

代表取締役社長 深澤 祐二
総務部企画グループ 安藤 文人 (☆)

21 公益財団法人 東日本鉄道文化財団

〒330-0852 さいたま市大宮区大成 3-47 鉄道博物館
Tel 048-651-0088 Fax 048-651-0570

会 長 富田 哲郎
学芸部 五十嵐健一 (☆)

22 一般財団法人 東武博物館

〒131-0032 墨田区東向島 4-28-16
Tel 03-3614-8811 Fax 03-3614-8814

理事長 三輪 裕章
理事・名誉館長 花上 嘉成
専務理事・館長 山田 智則
管理課長 山澤 晴行 (☆)

23 公益財団法人 日本ナショナルトラスト

〒102-0083 千代田区麹町 4-5 海事センタービル 4 階
Tel 03-6380-8511 Fax 03-3237-1190

会 長 梅崎 壽
事業課 梅宮 路子 (☆)

24 公益財団法人 交通協力会

〒100-0005 千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 903
Tel 03-6269-9808 Fax 03-6269-9809

会 長 菅 建彦 (☆)

25 横浜市電 1156 号保存会

〒231-8445 横浜市中区太田町 2-23 神奈川新聞社文化部
Tel 090-9015-3707

代 表 齊藤 大起 (☆)

26 新潟市新津鉄道資料館

〒956-0816 新潟市秋葉区新津東町 2-5-6
新潟市文化スポーツ部歴史文化課 新津鉄道資料館
Tel 0250-24-5700 Fax 0250-25-7808

館 長 帆苅 正悟
副館長 水澤喜代志 (☆)

27 上松町（赤沢森林鉄道）

〒399-5603 長野県木曽郡上松町駅前通り 2-13
上松町役場産業観光課
Tel 0264-52-4804 Fax 0264-52-1038

町 長 大屋 誠
商工観光係 横内 義広 (☆)

28 伊豆修善寺 虹の郷（一般財団法人 伊豆市振興公社）

〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺 4279-3
Tel 0558-72-7222 Fax 0558-72-7133

理事長 鈴木 健範
業務セクション 野田 一成 (☆)

29 足久保鐵道株式会社

〒420-0905 静岡市葵区南沼上 3-11-3
Tel 054-207-7444

代表取締役 玉井 宏政 (☆)

30 大井川鐵道株式会社

〒428-8503 静岡県島田市金谷東 2 町目 1112-2
Tel 0547-45-4111 Fax 0547-45-4115

代表取締役社長 鈴木 肇
鉄道部長 浅原 悟 (☆)

31 東海旅客鐵道株式会社（リニア・鉄道館）

〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭 3-2-2 リニア・鉄道館
Tel 052-389-6100 Fax 052-389-6101

代表取締役社長 金子 慎
館 長 天野 満宏 (☆)

32 公益財団法人 博物館明治村

〒484-0000 愛知県犬山市内山 1 番地
Tel 0568-67-0314 Fax 0568-67-0358

館 長 中川 武
所 長 吉田善一郎
主 任 近藤 雅隆 (☆)

33 NPO 法人 神岡・町づくりネットワーク

〒506-1147 岐阜県飛騨市神岡町東雲 1327-2
Tel 090-2454-1506 Fax 0578-82-6677

理事長	鈴木 進悟
レールマウンテン	
バイク事務局	田口由加子 (☆)

34 長浜鉄道スクエア（公益社団法人 長浜観光協会）

〒526-005 滋賀県長浜市北船町 1-41
Tel 0749-63-4091 Fax 0749-64-0396

館 長	今井 克美
主 査	梅園いつ子 (☆)

35 長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会 ※新加入

〒914-8501 福井県敦賀市中央町 2-1-1 敦賀市役所 産業経済部観光振興課内
Tel 0770-22-8128 Fax 0770-22-8184

会長（敦賀市長）	渕上 隆信
観光振興課長	大南 祐之
事務局	伊勢 智香 (☆)

36 NPO 法人 貨物鉄道博物館

〒510-8014 三重県四日市市富田 3-22-83 三岐鉄道株式会社内
Tel 059-364-2141 Fax 059-364-2142

館 長	吉岡 心平 (☆)
理 事	北川 潤

37 西日本旅客鉄道株式会社

〒530-8341 大阪市北区芝田 2-4-24
Tel 06-6375-2176 Fax 06-6376-6053

代表取締役社長	来島 達夫
広報部	岩倉 秀昭 (☆)

38 公益財団法人 交通文化振興財団

〒531-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-26 天神第一ビル 1004
Tel 06-6309-5113 Fax 06-6309-5114

理事長	来島 達夫
専務理事	三浦 英之
交通調査センター長	川端 英登 (☆)

39 加悦 SL 広場（宮津海陸運輸株式会社）

〒629-2422 京都府与謝郡与謝野町滝 941-2
Tel 0772-42-3186 Fax 0772-42-5300

代表取締役	館農 昇
管理課長	柴田万喜也 (☆)

40 NPO 法人 加悦鐵道保存会

〒612-8485 京都市伏見区久我森の宮町 4-144
Tel 090-3829-4000

理事長	吉田 博一
副理事長	中井 喜宏 (☆)

41 片上鐵道保存会

〒576-0034 大阪府交野市天野ヶ原町 2-39-2
Tel 0868-62-7155 (柵原鉦山資料館)

代表幹事	斉藤 公久
事務局	森岡 誠治 (☆)

42 若桜駅を元気にする会

〒680-0792 鳥取県八頭郡若桜町若桜 801-5
若桜町役場ふるさと創生課
Tel 0858-82-2231 Fax 0858-82-0134

会 長	藤原 源市
事務局	谷本 剛
	車井 育子 (☆)

43 NPO 法人 市民文化財ネットワーク鳥取

〒680-0022 鳥取市西町 1-106
Tel 0857-26-1151 Fax 0857-22-4103

理事長	渡辺 一正
事務局長	太田 縁 (☆)

44 山口線 SL 運行対策協議会

〒753-8501 山口市滝町 1-1 山口県庁観光スポーツ文化部 観光プロジェクト推進室
Tel 083-933-3170 Fax 083-933-3179

会 長	三坂 啓司
プロモーション グループ	西島 洋史 (☆)

45 西条市 (鉄道歴史パーク in SAIJO)

〒793-0030 愛媛県西条市大町 798-1
西条市観光交流センター
Tel 0897-52-1446 Fax 0897-53-6200

市 長	青野 勝
観光交流センター	寺田 達 (☆)

46 馬路村

〒781-6202 高知県安芸郡馬路村魚梁瀬 10-11
馬路村役場魚梁瀬支所 やなせ森林鉄道運営委員会
Tel 0887-43-2211 Fax 0887-43-2208

村 長 山崎 出
魚梁瀬支所 久保 可奈 (☆)

47 九州旅客鉄道株式会社

〒812-8566 福岡市博多区博多駅前 3-25-21
Tel 092-474-2541 Fax 092-474-3898

代表取締役社長 青柳 俊彦
広報部 明石 卓也 (☆)

48 北九州線車両保存会

〒818-0071 福岡県筑紫野市二日市西 3-12-1
Tel 080-6412-1666

代 表 手嶋 康人 (☆)

賛助会員

01 株式会社ネコ・パブリッシング

〒153-8545 目黒区下目黒 2-28-18 目黒山手通ビル
Te1 03-5745-7813

鉄道事業部長 山下 修司 (☆)

02 株式会社鉄道ジャーナル社

〒102-0072 千代田区飯田橋 4-8-6 日産ビル 3F
Te1 03-3264-1891 Fax 03-3265-3597

編集長 宮原 正和 (☆)

03 日本鉄道写真作家協会

〒160-0023 新宿区西新宿 7-5-14 井上ビル 12 号館 9 階
(有) マシマ・レイルウェイ・ピクチャーズ内

会 長 猪井 貴志
事務局 村上 悠太 (☆)

04 有限会社 レイルマンフォトオフィス

〒102-0072 千代田区飯田橋 3-4-3 エレガンス飯田橋 504
Te1 03-5212-2045 Fax 03-5212-2046

会 長 山崎 友也 (☆)

05 北陸重機工業株式会社

〒950-0871 新潟市山木戸 7-3-69
Te1 025-274-3311 Fax 025-271-4812

取締役会長 霜鳥 勝徳
営業課長 岩橋 正人 (☆)

06 有限会社鉄道フォーラム

〒484-0085 愛知県犬山市西古券 57
Te1 0568-62-9603 Fax 0568-61-6310

代表取締役 伊藤 博康 (☆)

07 株式会社片上鉄道

〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原 517
Tel 080-3541-5552 Fax 082-507-2035

代表取締役 森岡 直子 (☆)

08 株式会社日本旅行

〒105-8606 東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイヤビルディング 12 階
Tel 03-6895-7865

代表取締役社長 堀坂 明弘
情報システム部 瀬端 浩之 (☆)

09 トレインプラン

〒662-0054 兵庫県西宮市大谷町 3-30

代 表 太田 裕二 (☆)

友の会 会員 (五十音順)

赤羽 誠	阿部 豊	井門 義博	岩野 弘一	河合 桃子
倉繁 聡	柴山 純一	清水 薫	白川 淳	神野 清司
関本 康人	関田 克孝	橘 秀幸	田中 光一	田中 浩史
長野 光芳	西尾 恵介	野田 知毅	藤井 修	水野 彌彦

以 上

日本鉄道保存協会規約

(名称)

第1条 この会の名称は、日本鉄道保存協会（以下「協会」という）とする。

(目的)

第2条 協会は、歴史的鉄道車両、構造物、建物等を保存している団体が集い、相互に情報を交換し、将来にわたる保存・活用を推進することを目的とする。

(会員)

第3条 協会は、正会員たる加盟団体および賛助会員をもって構成する。

(会議)

第4条

1. 協会の会議は、総会および幹事会とする。
2. 総会は年1回開催するものとし、必要のつど臨時に開催することができる。

(役員団体)

第5条

1. 協会に代表幹事団体1団体、幹事団体2団体、会計監事団体2団体を置く。
2. 代表幹事団体、幹事団体、会計監事団体は、加盟団体の互選により選出する。
3. 代表幹事団体は、協会を代表し会務を総理する。
幹事団体は、総会その他会務の執行に関する重要事項を協議する。
会計監事団体は、協会の会計を監査する。
4. 役員団体の任期は2年とし、重任を妨げない。

(顧問)

第6条 協会に顧問を置く。顧問は、総会において代表幹事団体が推薦し、任期は2年とし、重任を妨げない。

(友の会)

第6条の2

1. 協会に日本鉄道保存協会友の会（以下「友の会」という）を設置し、協会の活動を支持する個人をもってその会員とする。
2. 友の会会員は総会に出席することができる。但し議決権を有しない。

(事務局)

第7条 協会の事務局は、代表幹事団体に置く。

(会費)

第8条

1. 協会の経費は、正会員、賛助会員および友の会会員が拠出する会費、並びに寄付金により賄う。
2. 年会費の額は、正会員12,000円、賛助会員12,000円（1口）、友の会会員3,000円とする。
3. 会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(規約の改正)

第9条 この規約の改正は、総会の議決によらなければならない。

付則 この規則は、平成3年4月1日から施行する。

総会の運営方法

原則として加盟団体が輪番制とし、開催に際しては、代表幹事団体および幹事団体ならびに開催場所の団体が協同して行う。

平成 3年 4月 1日施行
平成 6年 8月10日改正
平成16年 9月10日改正
平成20年10月 2日改正

団体名	遠 軽 町	〒 099-0203 Tel : 0158-47-2213 Fax : 0158-47-2128 URL : http://engaru.jp/ Email : m-sangyou@engaru.jp 担当者：丸瀬布総支所産業課 係長 上戸 智仁
-----	-------	---



H26.9.23 撮影

雨宮 21 号・DL 機関車併走同時運行

雨宮21号は森林鉄道用の蒸気機関車として昭和3年から約30年間、木材の運搬や生活物資の運搬のため武利意森林鉄道で活躍した車輛の1台です。

用途廃止後は、町民の保存運動によって唯一本機のみがスクラップ化を免れ、昭和54年には森林公園いこいの森で待望の動態保存が実現しました。

平成 16 年度 北海道遺産に選定 (NPO 法人北海道遺産協議会)

平成 20 年度 近代化産業遺産に認定 (経済産業省)

平成 24 年度 準鉄道記念物に認定 (J R 北海道)

平成 29 年度 林業遺産に認定(一般社団法人 日本森林学会)

1.運行日 平成 30 年 4 月 28 日から 10 月 21 日までのGW・夏休み・土・日・祝日

2.運行時間 10時から16時30分(30分毎)

3.運行区間 森林公園いこいの森園内 2km

4.乗車料金 大人500円(高校生以上) 小人250円(4才以上)

【近況報告】

◆丸瀬布森林公園いこいの森災害復興セレモニー◆

一昨年の台風等により莫大な被害を受けましたが、足掛け3年の期間を要した復旧工事が終了し、全施設が利用可能となる事を記念して7月21日に行われました。

セレモニーには、関係者をはじめ約80人が訪れ、安全祈願、新規遊具のお披露目など行われ全面復旧を盛大に祝いました。



7月21日災害復興セレモニー



H30 災害復興後

一昨年の災害に対しまして、フェイスブックページ等による皆様からの心温まる応援メッセージや、ご寄付を頂き、足掛け3年ですが全面復旧したことにしまして心より厚くお礼申しあげます。

お知らせ

平成30年12月8日・9日に卒寿記念雪中雨宮21号特別運行が行われます。

詳細については、近日中に町ホームページ等に掲載いたします。

団体名



〒 089-4300

北海道足寄郡陸別町字陸別原野基線 6 9 番地 1

Tel : 0156-27-2244 Fax : 0156-27-2791

URL <http://rikubetsu-railway.jimdo.com/>

Email ginga@bz01.plala.or.jp

☆運転体験の出来る観光鉄道☆

【営業期間】

4月下旬～10月下旬

【気動車乗車体験】

CR75（銀河鉄道999ラッピング列車）を使用し運行しています。

料金：（構内）

中学生以上 300円、

小学生 200円、小学生未満無料

（構外）

中学生以上 500円

小学生 300円、小学生未満無料

【トロッコ体験】

足こぎ式を利用し400mの周回コースを1周

料金：中学生以上 300円・小学生 200円

小学生未満無料

【気動車運転体験】

CR70・75型を使用し、運転士指導の下で運転していただくコースです。

（Sコース）

女性の方でも簡単に体験できます。

料 金：2,000円

対 象 者：小学校高学年以上身長130cm以上

体験運転：約20分間（運転・説明）

体験時間：約80分間（運転）

（Lコース）

1週間前完全予約制

予約方法：インターネットまたは電話予約

料 金：20,000円



（銀河コース）

1週間前完全予約制

※Lコース体験者のみ体験可能

予約方法：インターネットまたは電話予約

料 金：30,000円

（銀河コースパックセット）

1週間前完全予約制

初心者でも銀河コースを運転出来るのでおすすめ！

予約方法：インターネットまたは電話予約

料 金：50,000円

体験時間：計約160分間（講習・出区点検・運転）

Lコース80分間・銀河コース80分間

Lコースと銀河コースの体験に

2食付の宿泊が付き50,000円

<平成30年度事業経過>

平成20年4月に開業した「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」は今年で11年目を迎え、平成21年から開催している陸別町観光協会主催の「ふるさと銀河線りくべつ鉄道まつり」も今年で第10回目を迎えました。

平成22年「日本鉄道保存協会全国大会」が陸別会場として開催され、平成24年からは運転体験「銀河コース」として構外へ1.6km延伸し、翌年にトロッコ周回コース400mが新設されました。同年9月には「銀河鉄道999」の原作者「松本零士氏」が来町されて銀河の森天文台とメーテル号を結びつけた共同イベントを開催しました。平成27年5月より旧池北線で残った鉄路の最大延長路線、旧陸別駅～旧分線駅間5.7kmの運行を実現させましたが、本年3月に旧陸別駅から2.2km先の線路上で季節はずれの大雨があり表層雪崩が発生したため、現在その地点より先への運行は実施しておりませんが来年には復旧する予定です。



<トロッコ転車台>

<平成30年度イベントスケジュール>

- 4月22日(土) 平成30年度営業開始
- 5月 5日(土) GW 構外特別運行
- ★ 7月21日(土) 花火列車運行
- 7月22日(日) 第10回りくべつ鉄道まつり
- 8月11日(日) ～15日(水) お盆特別営業
- 8月13日(月) 夏休み構外特別運行
- 9月 9日(日) 網走線開業記念構外特別運行
- 10月14日(日) 鉄道の日記念構外特別運行
- 10月31日(水) 平成30年度営業最終日

団体名	北海道三笠市	〒068-2192 北海道三笠市幸町2番地 三笠市役所商工観光課 Tel : 01267-2-3997 Fax : 01267-2-7880 Email : kankou@city.mikasa.hokkaido.jp URL : http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/
施設名	三笠鉄道村	〒068-2145 北海道三笠市幌内町2丁目 三笠鉄道記念館 Tel : 01267-3-1123 Fax : 01267-2-6965 Email : tetsudoumura@s-304.com URL : http://www.s-304.com

三笠鉄道記念館は、北海道鉄道発祥の地として歴史的遺産・文化保存のため、昭和62年にオープンしました。館内には、明治時代の貴重な材料や、大正、昭和期に実際に使用された時刻表・制服・SL部品・信号機をはじめ北海道鉄道開拓時代から旧国鉄時代に活用されていた貴重な鉄道関連品を展示しています。動体保存されている蒸気機関車S-304号は、1939年に日本製鉄輪西製鉄所（後の新日本製鐵室蘭製作所）向けに作られた産業用機関車です。

■SL運行（乗車1回300円）

運行日………4月16日から

10月15日までの土・日・祝日

※7月下旬～8月中旬までの夏休み期間は、

休館日を除き毎日運行。

土曜………12:00始発～16:00発最終

日曜・祝日…10:00始発～16:00発最終

※30分毎の発車です。

ただし、12:30発の便はありません。



■SL機関士運転体験

三笠鉄道村では、蒸気機関車S-304号の運転体験ができます。村内の幌内鉄道450mを1往復。5分足らずのわずかな時間ですが、気分はSL機関士そのもの。全国各地からの参加があり、会員数も700人を超え、多くの方楽しんでいただいています。（詳しい体験方法はホームページご参照）

■展示車両（三笠鉄道村幌内ゾーン）

動態展示…S-304（C形タンク機）、コトラ149456、コトラ153095

機関庫内展示…C122（国鉄C12形機関車）、59609（国鉄9600形機関車）、ED76505、DD13353

屋外展示…DD51610、オハフ33451、スハフ4412、スユニ50505、キハ2252、キハ2723、キロ26104、

キハ5616、DD1517、DD141、チキ6147、ソ81、スエ3041、スエ321、DD1615、キ274、

キ756、セキ6657、トラ72568、ワム66172、DE101702、排雪モーターカー510、

ロータリー排雪車DL7L、坑外用8t電気機関車2両

食堂車…スハフ4520、キシ8031、オハフ46504

■イベント開催

毎年のゴールデンウィーク、お盆、秋にイベントを実施。

イベント時には、オリジナルヒーロー「鉄道戦隊ぽっぽレンジャー」が登場します。

また、客車ではなく、運行しているSLの運転席に乗車できる「SL運転席乗車体験」を行っているほか、「ぽっぽレンジャービンゴ大会」や「どん菓子」実演など、小さなお子様連れのお客様で賑わいました。



団 体 名	三菱大夕張鉄道保存会	連絡先 085-0003 北海道釧路市川北町 9-123 三菱大夕張鉄道保存会事務局 090-8635-5207
-------	------------	--

○三菱大夕張鉄道について

三菱大夕張鉄道は明治 44(1911)年に大夕張炭坑の専用鉄道として清水沢～二股間(後の南大夕張)が開通、その後炭鉱の北部移転に伴い、南大夕張～通洞間(後の大夕張炭山)が延長された。昭和 14(1939)年には地方鉄道に改組され、大夕張炭鉱の他、沿線の中小炭鉱の石炭輸送、森林鉄道で運び出された本材輸送など、沿線の開発に大きな貢献をした。

また、道路が未整備であった昭和 30 年代後半までは、地域住民の貴重な足でもあり、昭和 62(1987)年に南大夕張炭鉱の

合理化で鉄道が廃止されるまで残された「石炭ストープ」列車は夕張の冬の風物詩でもあり住民等に親しまれていた。



○三菱大夕張鉄道保存会の活動

鉄道廃止後、最終日の編成のままの客車・貨車などが南大夕張駅跡に残された。平成 2(1990)年には南大夕張炭鉱が閉山、保存・公園化を前提として車両が夕張市へ譲渡された(実際に正式譲渡されたのは平成 19 年)。公園化が具体化しないまま平成 11(1999)年には客車 1 両が積雪により転覆したが、市民や出身者などで三菱大夕張鉄道保存会が発足、夕張市へ保存を求めると共に修復活動開始し、12 月には夕張市により客車の転覆復



旧工事が実施された。その後当会により補修作業が本格化し、平成 13(2001)年には三菱大夕張鉄道の車両を含む空知管内の炭鉱遺産が「北海道遺産」として認定された。平成 17(2005)年には、夕張市によりシューパロダム周辺整備計画の一環として「南大夕張列車公園」整備計画が発表、住民説明会も実施されたが翌 18(2006)年には財政破綻が表面化。公園計画は事業見直しにより凍結された。平成 19(2007)年には旧南大夕張駅と保存車両が経済産業省により、近代化産業遺産として認定された。平成 27(2015)年には三菱鉱業自社発注のナハフ 1 が往年の塗装に復元された。一方、財政破綻により、夕張鉄道や三菱大夕張鉄道の S L や関連資料を保存する、石炭の歴史村・S L 館も閉鎖されたままとなっている。旧南大夕張駅については保存車両の補修に加え、補助金等を活用して周辺整備も進めているが、数年後の石勝線支線の廃止も視野に、S L 館も含め石炭と共に歩んだ鉄道の遺産を地域再生に活用出来るよう活動を展開しますので、皆様のご指導・ご支援願います。

主な活動内容

○保存車両公開 4 月下旬～11 月中旬(月 1 回程度の補修活動)

○汽車フェスタ 9 月上旬

○夕張の廃線跡バスツアー 7 月下旬 S L 館雪下ろしバスツアー 1 月下旬

○S L 館公開や廃線跡・産業遺産探訪などを組み合わせたシンポジウムなどの企画、実施

○ホームページ <http://www.ooyubari-rps.net/>

○FB ページもあります

夕張市での連絡先 夕張市清水沢 2 丁目読売新聞夕張中央メディアセンター(高橋勇治)

団体名	一般社団法人 南部縦貫レールバス愛好会	〒 039-2512 青森県上北郡七戸町笹田 54-2 旧七戸駅機関庫内 Tel : 080-3201-4158 Fax : URL : www.ogaemon.com/ Email : zwr07104@nifty.ne.jp 担当者：小川
平成 9 年運転休止、平成 14 年に廃線となりました南部縦貫鉄道で使用されていた車輛の保存活動を行っています。 富士重工製のレールバスキハ 101・102 の 2 両とキハ 104 ディーゼルカー 1 両、機関車 3 両（D451、DC251、DB11）を旧七戸駅構内で保存を行っています。 一昨年より静態保存されていた DC251 機関車のエンジン整備作業を行っていましたが、今年復活することに成功し機関庫の外まで運転することができるようになりました。現在引き続き整備を行っています。 毎年ゴールデンウィークにはレールバスに体験乗車できるイベントを開催し、秋には夕暮れ撮影会と称して日中帯から日没後までライトアップを行い撮影会を開催しております。今年の夕暮れ撮影会は 10 月 27 日（土）を予定しております。皆様のお越しをお待ちしております。 		

団体名 七百レールファンクラブ

<https://www.facebook.com/pages/七百レールファンクラブ/1014675581876815>

七百検修庫: 〒033-0071

青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字権現沢14-66

七百レールファンクラブ会長自宅: 〒033-0071

青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字権現沢95-2

会長: 斎藤正

施設名 七百鉄道記念館

七百鉄道記念館 事務取扱方

住所: 〒336-0926

埼玉県さいたま市緑区東浦和4-23-4-101

氏名: 野田 悟

連絡先: 070-6528-2629 (開館時以外は通じません)

メール: shichihvaku@yahoo.ne.jp

平成24年3月31日限りで廃線となった十和田観光電鉄線の旧: 七百駅構内にて同社の車両の保存活動などを行っている団体です。

平成25年に旧: 七百駅周辺の住民が中心となり「七百レールファンクラブ」発足

平成26年に旧: 七百検修庫を中心とする土地・建物と車両6両を十和田観光電鉄から会員が購入

平成27年 5月31日 「七百鉄道記念館」として第一回 一般公開を実施

平成27年11月 8日 第二回 一般公開を実施

平成28年 5月29日 第三回 一般公開を実施

平成28年11月 6日 第四回 一般公開を実施

平成29年 5月28日 第五回 一般公開を実施

平成29年10月22日 第六回 一般公開を実施

平成30年 5月27日 第七回 一般公開を実施

平成30年10月21日 第八回 一般公開を実施予定



この他、平成30年 1月13・14日には向山駅愛好会出張イベント「おらんどの駅まつりinイオンモール下田」に「なつかしの十鉄資料展示」への協力や、夏には趣味団体向けへの特別公開を行いました。

開館以来、会員以外地元の方々やOBを含めた十和田観光電鉄の方々などのご協力を賜り、所蔵・展示品の充実を図ることが出来ました。今後も引き続き取り組んでまいります。

※ 個人連絡先(野田)

自宅: 048-876-0102

自宅PC: IZD01662@nifty.com

個人携帯: 090-2520-2629

個人携帯アドレス: satorunoda@docomo.ne.jp

団体名

小坂鉄道保存会

連絡先（小坂鉄道レールパーク 気付）

〒017-0202 秋田県鹿角郡小坂町小坂鉾山字古川20-9

Tel 0186-25-8890 Fax 0186-29-2002

貨車復活！！新たな体験企画へ。

小坂鉄道保存会は、平成21年(2009)に廃線となった旧小坂鉄道の車両や設備、資史料の保存と、それらを活用した小坂鉄道レールパーク体験観光プログラムの企画運営に協力するボランティア団体です。今年8月現在の会員数は、一般会員24名、子ども会員・ペット会員を含むサポート会員47名の計71名。年齢や職業も様々で、イベント協力などの活動には北海道から九州までと遠方からも駆けつけ、「魅せ鉄」の心で小坂町の観光や町づくりにも貢献しています。

昨年度は、冬の休園期間を利用して貨車（ホッパ車）の修復にも取り組み、新たな貨車牽引体験を企画・提案。平成30年度からレールパークの新たな体験メニューとして実現しました。



▲小坂鉄道ホキ909(ホキ800形)は、昭和36年(1961)に国鉄浜松工場で製造された古老車輛。まずは、痛んだ塗装を落とすことから始める。



▲塗装履歴から所属の経緯も判明。当初は国鉄静岡鉄道管理局所属、飯田線三河槇原駅常備で、後に同線牛久保駅常備となった。小坂鉄道にきたのは、昭和62年(1987)12月。



▲足尾歴史館の方々の協力もあり修理が完成。



▲4月15日、お客様を招いて修理完成お披露目会。



▲運転士への道「貨車牽引コース」実現に向けて操車訓練

くりでんを見て、ふれて、体感できるレールパーク



宮城県の北部に位置する栗原市で大正時代から運行していたのが「くりはら田園鉄道」です。旅客・貨物輸送を行った単線ローカル線で、「くりでん」の愛称で親しまれていましたが、2007年に惜しまれながら廃線となりました。

現在は、その歴史を後世に伝えていこうという趣旨に「くりはら田園鉄道公園」を整備しました。さらに今年は、くりはら田園鉄道(株)の前身である栗原軌道(株)発足から100年になる節目の年で、記念ロゴを作成。記念イベントも開催しています。

1 くりでんミュージアム

見て、ふれて、体験できる！

旧くりはら田園鉄道の貴重な資料や工具、車両等を保存、公開し「くりでん」の魅力を全国に発信するために整備しました。

館内には、くりでんの歴史展示や沿線を再現したジオラマ、営業当時の車両の運転席で行う運転シミュレーター、くりでんの歴史をドラマ仕立てで伝えるミニシアターなど見所満載の施設です。

- 開館時間：10時～17時
(最終入館16時)
- 休館日：毎週火曜日、年末年始
- 入館料：一般(高校生以上) 500円
小中学生 300円
小学生未満は無料
- 運転シミュレーター料金：1回500円



企画展「くりでんジオラマができるまで」



運転シミュレーター

2 くりでん・レールバイク乗車会

廃線を活用したアトラクション！

くりでんは、営業当時運行していたKD95で当時の雰囲気ながらに運行します。硬券切符を購入しご乗車いただきます。

レールバイクは、通常の自転車と同様にペダルを漕いで、レールの上を走行することができる乗り物です。レールの継ぎ目の「ガタンゴトン」という音を直に体感することができます。

- イベント期間：4月～11月の日曜日(※不定休あり)
- 運行区間：片道900m往復
- 乗車料金：レールバイク 1台500円(最大4人乗り)
くりでん(KD95) 小学生以上1人300円(未就学児無料)



くりでん

レールバイク

3 気動車(KD95)運転体験

営業当時のまま、くりでんを運転！

営業当時運行していたくりでん(KD95)を運転することができます。

運転の際は、制服や帽子を身に着け、くりでんの運転士になっていただきます。

- 期間：4月～11月の第3土曜日
- 運転区間：片道900m往復
- 料金：初回 30,000円(講習料、テキスト代込み)
単機(2回目以降) 25,000円
重連(6回目以降) 40,000円



KD95運転席

団体名	真岡線SL運行協議会	〒321-4415 栃木県真岡市下籠谷4412番地 TEL 0285(82)9151 FAX 0285(82)9152
-----	------------	---



▲SLもおか号「C1266」

「SLもおか」2018秋冬・運行日程

【運行日】	10月 6日・7日・8日・13日・14日・20日・21日 27日・28日
	11月 3日・4日・10日・11日・17日・18日・23日 24日・25日
	12月 1日・2日・8日・9日・15日・16日・22日 23日・24日
【運行区間】	真岡鐵道 下館駅～茂木駅（41.9キロ）
【運行時間】	下り 下館駅10:35発～茂木駅12:06着 上り 茂木駅14:26発～下館駅15:56着
【運行車両】	SL C12形66号、C11形325号 PC 50系 オハ2両、オハフ1両 DL DE10 1535 1両

〔近況報告〕

◆栃木DC開催記念 JR小山駅発列車の運行！

・JR6社と自治体が共同で実施する「栃木デスティネーションキャンペーン」が平成30年4月から6月まで開催され、記念イベントとして小山駅発の列車「DL&SLもおか」がJR旅行商品として発売されました。5月、6月に1日ずつ運行された当列車ではご当地グルメやノベルティなどの提供があり、参加者は真岡線の旅を満喫した様子でした。



《下館駅に到着した真岡鐵道の客車》

◆第9回真岡鐵道SLフェスタ開催！

・今年も「真岡鐵道SLフェスタ」が11月下旬に開催される予定です。昨年は新企画「DE10見学会」を実施した当フェスタは、真岡鐵道のSLC11、C12、9600型、D51などが勢揃いし、例年賑わいを見せるSLのお祭りです。楽しいイベント盛りだくさんで、沿線の方や真岡鐵道ファンの皆様、そしてSLファンの方のお越しをお待ちしております。



《昨年度のSLフェスタの様子》

◆7月、8月にて夏休みSLイベントを実施しました！

・今年も子どもたちの夏休み期間にあわせて、夏休みSLイベント「SL教室」、「SLガイド体験」などを開催しました。世代を問わずたくさんの参加者にご参加頂き、SLを体験していただきました。



▲体験参加者の記念撮影
(SLガイド体験)



▲運転室にてSLの仕組みを
学ぶ参加者（SL教室）



▲ボランティアスタッフから説明を受ける参加者（SL教室）

団体名

NPO 法人
足尾歴史館・トロッコ部
(旧 けいてつ協会)

〒321-1523

Tel : 0288-93-0189 Fax : 0288-93-0189

URL : <http://ashiorekishikan.com>

Email : なし

担当者：岡本憲之、北川 潤



▲当時のガソリンカーを忠実に復元した車両を毎月第一・土・日曜日にボランティアによって運行しています。



▲昨年、美しく塗装しました濃硫酸専用タンク車タキ 29312 含めて貴重な鉄道車両が足尾駅にあります。



▲一番手前が森製作所製の4トンガソリン機関車。その後は、立山砂防工事専用軌道から来た機関車ほか…



▲毎年、数回開催されています、わたらせ渓谷鐵道足尾駅構内で保存されている鉄道車両の一般公開。一部は動態保存として展示走行します。

足尾銅山の歴史における光と影、その真実の展示を中心に、地域の郷土資料館的な存在としても活動を続けております。

その他、産業遺産として広く鉄道関係の保存もおこなっており、部会として「足尾歴史館トロッコ部」という活動にて、野外展示場のガソリンカー含めてトロッコたちの保存と、わたらせ渓谷鐵道の足尾駅構内の保存車両の維持・管理をしております。

さて、新たな展開として、今年度を最後にNPO法人としての「足尾歴史館」の運営は終了し、来年度からは古河機械金属株式会社が同館を運営することになりました。引き続き野外展示場の「足尾ガソリン軌道・歴史館線」と足尾駅構内の保存車両たちの管理・運行の活動は続きますが、部会としての足尾歴史館・トロッコ部は独立することになり、新たに“あしおトロッコ博物館準備室(仮題)”として将来的な完全独立を目指すことになりました。引き続き多くの皆様方のご支援を、今以上に頂きたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

【足尾ガソリン軌道歴史館線&野外展示場】の近況

足尾の街中を走っておりました通称:ガソリンカー。その車両を忠実に復元したガソリン機関車と客車を、毎月第一の土・日曜日にボランティアによって運行しております。

その他、たいへん珍しい軌間 610mm のナローゲージ車両を多数保存しております。

【足尾駅での保存車両の公開】

わたらせ渓谷鐵道の足尾駅構内には、地元縁のある気動車(キハ 30 など)や貨車(タンク車ほか)に入換用の機関車など多数保存されています。敷地の所有者であります わたらせ渓谷鐵道株式会社と 古河機械金属株式会社のご理解と協力により、保存車両をNPO 法人足尾歴史館・トロッコ部が所有・管理しております。この車両たちの一般公開を年数回おこなっております。今年は5月5日に開催しました。次回は10月7日(日曜日)を予定しています。昨年、塗装をおこないました濃硫酸専用タンク車タキ 29312 など、ぜひ皆様にご覧頂きたいと願っております。

団体名

鹿島鉄道保存会

<鹿島鉄道記念館>

〒113-0033

東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル 11 階 (株)パレア内

TEL 03-5802-2755 FAX 03-3818-2700

URL <https://www.facebook.com/kashitetsu>

E-mail info@kashitetsu.com 代表者: 加藤

鹿島鉄道保存会は、平成19年3月末をもって営業廃止した鹿島鉄道線(石岡～鉾田間27.2km)の物品・資料の収集や茨城県小美玉市にある私設・鹿島鉄道記念館(普段は非公開)の保存展示など運営サポートを行っている任意団体です。旧かしてつ応援団をはじめとする存続運動関係者や鹿島鉄道応援ホームページメンバーなどの有志約20名で構成され、年齢や職業も多岐に渡り「鹿島鉄道が心の底から好きだった」という共通認識でつながっています。



キハ 714 再塗装せずに廃線当時のままで維持



玉里駅関連の收藏品



鉾田駅保存会と廃線 11 周年写真展を開催

【保存車両】

キハ 7 1 4 (昭和 2 8 年新潟鉄工所 元夕張鉄道キハ 2 5 1)

KR-5 0 1 (平成元年新潟鉄工所 鹿島鉄道自社発注車)

キハ 4 3 1 (昭和 3 2 年東急車輛 元加越能鉄道キハ 1 2 5)

【保存建物】

玉里駅上りホーム待合室

ヘッドマーク、駅名板、信号機その他多くの鹿島鉄道関連グッズ、存続運動資料等を収蔵

【活動報告】

平成 2 1 年 3 月の記念館完成後、非定期で鉄道ファン向けの一般公開(事前予約制)、見学団体受け入れや自治体とのイベント共催による特別公開を実施しています。

また、本年 5 月に水戸市内で鉾田駅保存会との共催で鹿島鉄道廃線 1 1 周年写真展を開催しました。

【今後について】

現在、主力メンバーが多忙で目立った活動はできませんが、鹿島鉄道や存続運動が忘れ去られてしまわぬよう、今後も保存活動を維持継続するとともに、一般公開を開催したいと考えています。

団体名

鉾田駅保存会

〒311-1528

茨城県鉾田市当間220ほっとパーク鉾田

TEL090-4387-8455

e-mail: hokota-station@railnifty.com

URL: <http://hokotaeki.io/>



2007年3月31日に廃止になった鹿島鉄道の2両の気動車、キハ601とKR-505の保存活動を、2両が保存されている、茨城県鉾田市の温泉施設『ほっとパーク鉾田』で行っています。

2012～17年度は、車両の補修・塗装作業と、毎月第4日曜日の定期車内公開を実施しました。

2018年度も、車両の補修・塗装作業と、第4日曜日の定期車内公開(4月～12月)を実施しています。

当会が保存活動を行っている、鹿島鉄道の気動車、キハ601とKR-505は2008年1月に当会が鹿島鉄道殿から購入したものでした。

鉾田駅保存会は、賃借した鉾田駅跡地において2両の気動車の保存活動を実施していました。

その後紆余曲折があり、鉾田市議会の議決により市の温泉施設『ほっとパーク鉾田』において2両の保存をすることになり、当会は2両を鉾田市に寄付し、鉾田駅の保存車両は2009年12月24日に『ほっとパーク鉾田』に移送されました。その後当会は引き続き2両の気動車の保存活動をしています。



東日本大震災被害の復旧作業



展示状態

当会によるキハ601・KR-505の公開イベントは本年4月で10周年を迎えました。

月例の定期公開では、保存活動の周知と、鹿島鉄道を知らない年少世代への記憶の継承を目的に、下記の様な企画を行っています。

- (1) KR-505車内でのプラレール遊び
- (2) キハ601車内での鉄道模型展示・運転(N・HOゲージ 鉾田駅・常陸小川駅のジオラマ等)
- (3) 5インチ乗用鉄道の体験乗車(16m×10mオーバル)
- (4) 鉾田駅保存会製作のグッズの販売
- (5) 鹿島鉄道関連書籍の展示
- (6) 保存活動内容の展示

東日本大震災では展示線路盤の液状化等により床下機器にも被害が及び修復に取り組んでいます。

昨年度から今年度はじめにかけてキハ601の屋根と車体の腐食部位の補修と全塗装を行いました。

その後8月までKR-505の車体腐蝕部位の補修と部分塗装作業を行いました。

対外活動として、鉾田市主催の『鉾田うまっぺフェスタ』や、『ほこたマラソン』『鉾田花火大会』『石岡サマーフェスタ』などの地域行事に参加・協力し、広報活動を行っています。

今年度は5月上旬に鹿島鉄道保存会殿との共催で水戸市において『鹿島鉄道廃線11周年写真展』を実施しました。また、7月下旬に石岡市の『石岡サマーフェスタ2018』に出展し広報などを行いました。

今年度の今後の定期公開予定日は、10/28(日)・11/25(日)・12/23(日)です。

臨時公開予定日は、鉾田いっぴんマルシェ10/8(日)、鉾田マラソン協賛公開:12/16(日)、

廃線12周年公開:3/31(日)です。

今後のイベント参加予定は、鉾田いっぴんマルシェ10/8(日)、鉾田うまっぺフェスタ10/14(日)、鉾田マラソン12/16(日)他です。

団体名	ザ・ヒロサワ・シティ (レールパーク)	〒308-0811 茨城県筑西市茂田 ザ・ヒロサワ・シティ 株式会社 広沢商事 内 Tel : 0296-21-1234 Fax: 0296-24-7837 Email : honten@hirosawa-shoji.co.jp 担当者: 大久保、野口
-----	--	---

日本百名山で有名な「筑波山」を望む自然豊かな場所に、「自然・健康・文化」をテーマにした 100 万㎡に及ぶ「ザ・ヒロサワ・シティ」は創られています。

「ザ・ヒロサワ・シティ」の中には、18 ホールの本格的ゴルフ場やパークゴルフ場、オフロードコース等の「スポーツ施設」、美術館、学校等の「文化施設」、農園、薬草園、温室等の「農業施設」が配置されています。また、赤レンガ色と白と黒を基調とした北欧風の建物が異国情緒を醸し出しています。(写真は、ザ・ヒロサワ・シティからみた筑波山)

「ザ・ヒロサワ・シティ」では、2015 年から鉄道文化の保存について取り組んでおり、現在(2018 年 8 月末現在)以下の 9 両を所有し、常時一般公開できるよう整備作業に取り組んでいます。



ザ・ヒロサワ・シティの保存車両たち

- | | | |
|--------------|--------------------|---------------------|
| ● EF81 138 | JR東日本からの譲受車両 | 北斗星を牽引した実績のある電気機関車 |
| ● オロハネ24 551 | JR東日本からの譲受車両 | 北斗星のラストランを飾ったA・B寝台車 |
| ● スシ24 505 | JR東日本からの譲受車両 | 北斗星で利用されていた食堂車 |
| ● オハ25 503 | JR東日本からの譲受車両 | 北斗星のラストランを飾ったロビーカー |
| ● オハネフ25 12 | JR東日本からの譲受車両 | 北斗星で使用されていたB寝台車両 |
| ● 7001 | 鹿島臨海鉄道(茨城県)からの譲受車両 | マリンライナーはまなす号 |
| ● 7002 | 鹿島臨海鉄道(茨城県)からの譲受車両 | マリンライナーはまなす号 |
| ● キハ101 | 関東鉄道からの譲受車両 | 旧JR九州 キハ30 55 |
| ● キハ102 | 関東鉄道からの譲受車両 | 旧JR九州 キハ30 96 |

ザ・ヒロサワ・シティ梅まつりにおいて、車内公開を行いました

毎年恒例のザ・ヒロサワ・シティの梅まつりが、3月10日と17日に開催されました。レールパークにおいても各車両の車内公開を実施しました。

EF81 とキハ 101 は汽笛吹鳴を実施、マリンライナーはまなすは車内が改装され、7001 は子供広場としてプラレールコーナーや乗用遊具が、7002 は歴代の電車でGO! が設置され、子供から大人まで多くの方に楽しんで頂きました。



ザ・ヒロサワ・シティ感謝祭において、車内公開を行いました

8月19日にザ・ヒロサワ・シティ感謝祭が開催され、夜の部においてレールパークの車両の車内公開を実施しました。

キハ101車内では初めてのイベントとして、制服・制帽を着用して運転席での記念撮影を開催し、ご家族連れの方々に好評でした。またマリンライナーはまなすの車内では電車でGO! がさらに増えて歴代5種類が並び、こちらも多くの方に楽しんで頂きました。



北斗星やマリンライナーはまなすの補修作業を開始しました

北斗星編成の一部車両で窓ガラスのひび割れが発生していましたが、ひびの入ったガラスを外しポリカーボネート板に交換を実施しました。EF81も正面の塗装の剥がれが発生していたため、補修と塗装を実施しました。

また雨漏りや発錆が進んでいたマリンライナーはまなすで補修作業を開始しました。屋根上関係では換気装置のキセの交換、換気装置内部の塗装及び穴あき部分の補修、屋根各所の錆落としと補修塗装を実施しました。



日本鉄道保存協会の関係者の皆様については、担当者宛てにメール等で事前にご連絡を頂ければ、車両内部の見学ができるように手配させていただきます。ただし、スタッフの都合から希望の日時に対応できないことがありますのでご了承ください。

団体名	一般財団法人 碓氷峠交流記念財団 碓氷峠鉄道文化むら	〒379-0301 群馬県安中市松井田町横川 407-16 Tel : 027-380-4163 FAX : 027-380-4111 URL : http://www.usuitouge.com/bunkamura/ Email : bunkamura@usuitouge.com 担当者：瀧川 広
-----	-------------------------------	---

碓氷峠鉄道文化むらのある松井田町は群馬県の南西部に位置し、碓氷峠をはさんで長野県の軽井沢町と接しています。峠のシェルパEF63形機関車の基地であった旧横川機関区の跡地で、東京ドーム3.5個分のスペースがあります。

峠の鉄道の歴史は古く、明治の初めに東京～京都間を碓氷峠越えの中山道案で結ぶと決定されましたが、明治19年にこの峠が難関のため東海道本線経路に変更された経緯のある所です。しかし、明治26年には日本で初のアプト式鉄道の採用で開通しましたが、11.2kmで標高差553mもあり、トンネル区間が多いため当時蒸気機関車の煙害防止のため、明治45年にこれまた日本初の幹線電化区間となりました。日本の鉄道技術の発展はこの峠から生まれたと言っても過言ではない線区でした。

時移り平成9年、長野オリンピックの開催を控えて、同年10月1日の長野新幹線の開業と同時に併行在来線として104年の歴史にピリオドを打ちました。旧機関区周辺は鉄道の街として発展してきましたが、廃止に伴う過疎化防止と地域経済の核として、旧松井田町が群馬県・JR東日本の協力により平成11年4月にオープンした鉄道の広場です。今年で開園20年目を迎えました。

信越本線横川～軽井沢間（通称、碓氷線）は廃線後早20年が経とうとしており、廃線間際の熱気も潮が引くように静かになってしまいましたが、この廃線敷を使い近代化遺産第1号に指定されている、丸山変電所跡を通り峠の湯までの2.6kmを3月～11月の間の土日祝日と8月の毎日、トロッコ列車が運行しています。

また日本で唯一のEF63形電気機関車の運転体験も2,592人が受講されています。平成29年度は58名の受講者（男性57名・女性1名）があり、のべ3,180回の体験を楽しめました。また、通算500回以上運転された方が4名おります。30年度も引き続き多くのお客様が受講され、運転体験を楽しんでいます。

今後は屋外に展示されている車両や動態保存しているEF63形電気機関車の保存方法や修繕方法など、貴重な車両をどのように後世に残していくかが課題となっています。



運転体験で使用している EF63 形電気機関車



トロッコ列車シェルパくん



屋外に展示されている車両

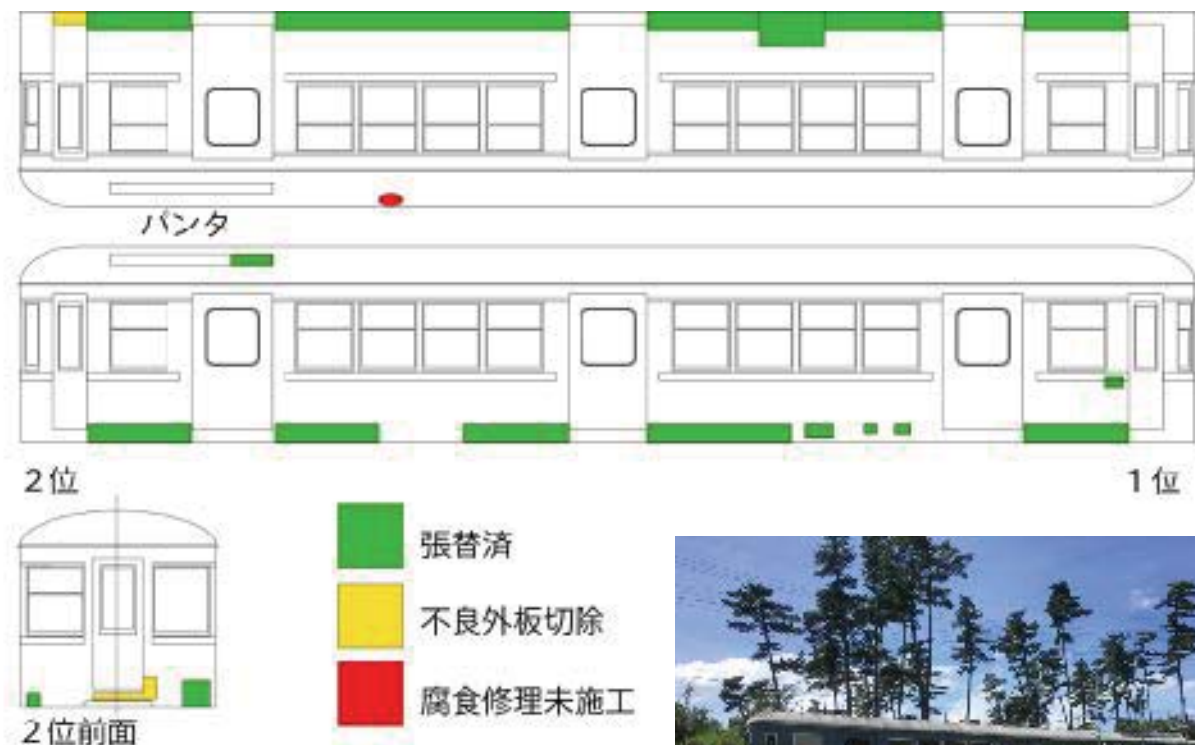


鉄道展示館と189系あさま号

団体名	デハ3499号車保存会	〒331-0802 Tel : 080-3013-5871 URL : http://www.mc-tc.net/3499 Email : moha565_deha3499@mc-tc.net 担当者：日暮
-----	-------------	---

私どもは、1936年製元東急電鉄デハ3450型3499号車を2010年に取得、群馬県下で保存修復作業を行なっています。

■2017年秋-2018年夏までの進捗



・外板腐食修理作業は、借用品溶接機を所有者が引き揚げたため停滞しております。本年9月に入り、中古ながらエンジン溶接機を保存会所有扱いで購入、同下旬の作業より本格活用すべく準備しております。

・その他、2018年は天候不順や異常高温等があり、作業が思うように進んでおりません。2019年3月は東急3450型引退から30周年を迎えるため、これに向けて諸事何らかの動きができればと考えております。

・パテ付け作業についても随時実施しています。新規鋼板は溶接歪みで平滑を欠いているため、当該箇所のほぼ全域にパテを塗り付けて研ぎ出す必要があり、手間もパテ消費量も少なからぬ状況にあります。

■20歳前後の方が3名ほど活動に参加していただける事になり、大変有難い事だと感じております。この種の活動は世代を超えて受け継がれる必要がありますが、現実には国内外問わず後継世代の確保や育成が大きな課題になっており、弊会も例外ではありません。

■管理人日暮の個人名義でのTwitterを始めました。 @TKK_deha3499

団体名	日本工業大学 工業技術博物館	〒 345-8501 Tel : 0480-34-4111 Fax : 0480-33-7570 URL : http://www.nit.ac.jp/ Email : museum@nit.ac.jp 担当者 : 丹治 明
-----	---------------------------	---



製造されて 127 年、大学キャンパスを疾走する 2109 号蒸気機関車の勇姿

1993 年 9 月に大井川鉄道より本学に寄贈され、年に 2 度の洗缶作業を行い、2007 年度にボイラー煙管 172 本とステー管 16 本を交換して、動態保存を実施している。2012 年度の右側シリンダーの補修作業後の有火運転も無事に再開している。

2109 号蒸気機関車を、原則として 8 月と 12 月を除く毎月第 3 土曜日に定期有火運転し、一般に公開している。上記の写真にキャンパス内で運転中の様子を示す。

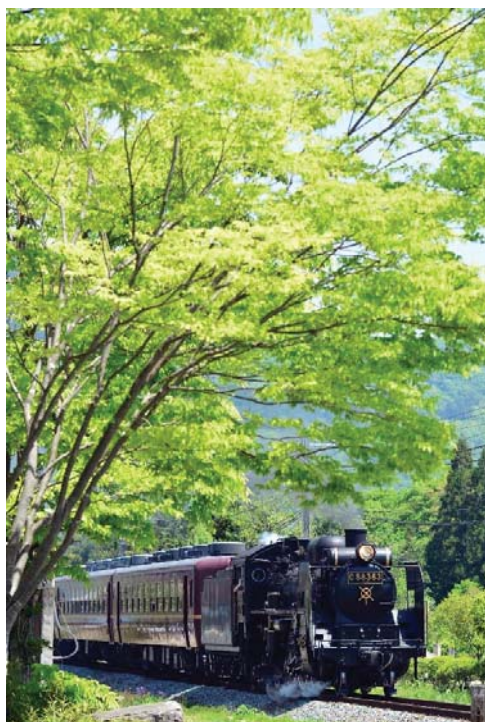
このほかにも学園祭等のイベント時にも有火運転を行っており、運転予定日時等の詳細は、当博物館事務室に問い合わせ下さい。

また、急な都合により運転内容・日時を変更させて頂く場合もあるので、ご容赦願います。

平成 30 年度の有火運転実績

運転日	運転時刻	備 考
5 月 19 日(土)	13 : 00～15 : 00	定期運転
6 月 16 日(土)	13 : 00～15 : 00	定期運転
7 月 14 日(土)	13 : 00～15 : 00	オープンキャンパス

団体名	秩父鉄道株式会社	〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地 Tel : 048-523-3337 Fax : 048-526-0551 URL : http://www.chichibu-railway.co.jp/ Email : syaryo@chichibu-railway.co.jp 担当者：木村 壮史
-----	----------	---



秩父鉄道 SL パレオエクスプレス

SLパレオエクスプレスは、通年3月下旬から12月初めにかけて、土曜、祝祭日を中心に運行しております。

秩父地方の大自然の中を四季折々の景色と共にSLの醍醐味を多くのお客様に楽しんで頂いております。

今年度は、冬季特別運行として、1月1～3日、5、6日の5日間運転いたします。

是非、皆様のご乗車お待ちしております。

団体名

東日本旅客鉄道株式会社
公益財団法人東日本鉄道文化財団

〒330-0852

埼玉県さいたま市大宮区大成町 3 丁目 47 番

Tel : 048-651-0088 Fax : 048-651-0570

URL : <http://www.railway-museum.jp/>

鉄道博物館の新館がオープンしました！！



2018 年 7 月 5 日、本館の南側に新館がオープンしました。鉄道マンの仕事に実際に触れ、体験することができる**仕事ステーション**、未来の社会、鉄道を疑似体験できる**未来ステーション**、日本の鉄道 140 余年の歩みをたどる**歴史ステーション**など、人と鉄道の関わりをさまざまなテーマでつづる体験型ミュージアムです。あわせて本館も一部施設のリニューアルを行いました。新しくなった鉄道博物館にぜひ一度お越しください。

新館の主なみどころ

1 階 仕事ステーション



400 系と E5 系（モックアップ）



楽しみながら仕事を体験



鉄道の仕事連携実演ショー

2 階 シミュレータホール



320km/h 体験ができる E5 系シミュレータ

2 階 未来ステーション



自分の分身（アバター）を作り、未来の鉄道を疑似体験



3 階 歴史ステーション



駅の出札窓口や、改札、駅事務室を再現した社会展示



技術の発達を紹介した技術展示

団体名	一般財団法人 東武博物館	〒131-0032 東京都墨田区東向島4-28-16 ☎03-3614-8811 / Fax03-3614-8814 http://www.tobu.co.jp/museum
-----	--------------	--

◆概要

東武鉄道の創立90周年を記念して、1989(平成元)年5月20日にオープンしました。
身近な交通機関である鉄道やバスに親しみ、理解していただけるよう、館内を8つのコーナーに分けて構成し、東武鉄道の歴史や文化・役割を紹介しています。
郷愁を誘うダイナミックな蒸気機関車をはじめ、実物車両や記念物などの貴重な資料を展示している一方で、交通のしくみを実際に見て、触れて、体感できるようシミュレータや実物機器を設置しています。
また、博物館の真上を走行する車両を至近距離から観察できる、立地を活かしたコーナーも設けたリアルタイム感覚で楽しめる体験型のミュージアムです。

◆保存車両

【静態保存】

東武鉄道最初の蒸気機関車5号・6号、電気機関車ED101号、電車デハ1形5号、戦後最初の新造特急電車5700系の他、さまざまなジャンルの車両12両を展示しています。



5号蒸気機関車



ED101号電気機関車



デハ1形5号



特急車5700系5701号

【動態保存】

昭和38年製8000系8111編成(6両)を運転可能な状態で保存し、団体用としてご利用いただいています。またC11 207号蒸気機関車・14系客車4両・12系客車・ヨ8000形車掌車各2両も所有し、平成29年8月10日から鬼怒川線でSL大樹として営業運転しています。



8000系8111編成



SL大樹

団体名	公益財団法人 日本ナショナルトラスト  Japan National Trust	〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 海事センタービル TEL 03-6380-8511 FAX 03-3237-1190
------------	---	---

トラストトレインは、日本で最初に市民の募金により取得し、保存・活用している歴史的車両です。1987年7月25日から大井川鐵道株式会社の協力を得て運転を開始し、多くの方々からの寄付金やボランティア活動に支えられ20年以上走り続けてきました。(公財)日本ナショナルトラストでは、今後もこれらの鉄道にかかわる文化遺産を末永く後世へ継承していくため、活動を続けてまいります。





○2018年「トラストトレイン」運行日

【運転日】4/14、6/2、7/7、8/25、9/29の計5回 ※8/25は「親子ボランティア」

【区間】大井川鐵道 新金谷 — 千頭間 (37.2km)

【保有車両の編成】

スハフ43形2・3号客車、オハニ36形7号荷物合造客車、C12形タンク式蒸気機関車

※C12は現在休車中

【近況報告】

昨年度、トラストトレインは運行開始から30周年を迎え、また今年度、(公財)日本ナショナルトラストは設立50周年を迎えました。この節目にあたり、現在、ボランティアでC12形タンク式蒸気機関車用のヘッドマークや、トラストトレインを知っていただくためのポスターなどを作成しております。

多くの方にトラストトレインに乗っていただき、さらにはボランティア活動に参加していただけるよう、がんばっています！



パンフレット配布の様子
昨年度からお揃いのビブスを着ています！

◆ボランティア募集◆

トラストトレインでは、8月の親子ボランティアも含め、年に5回ボランティアによる運行を行っています。運行日にはパンフレット配りや客車内の清掃にご協力いただきます。ご興味がありましたら、(公財)日本ナショナルトラストまでお問い合わせください。

※来年の運行日は決まり次第、HP等でお知らせいたします。

団体名 公益財団法人 交通協力会

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 903 号

電話 03-6269-9808 FAX 03-6269-9809

会長 菅 達彦 / 理事長 上野 文雄

沿革

当会の源流は、大戦中の 1943(昭和 18)年に鉄道省が設立した財団法人陸運協力会に遡ります。それまで民間企業に依存していた鉄道関係の新聞・雑誌・書籍の刊行が紙の統制のため困難となったという事情が背景にありました。同年 4 月、日刊紙『陸輸新報』の刊行が始まり、各種の雑誌も戦時下の困難を乗り越えて発刊しました。

戦後は名称を財団法人交通協力会と改め、『陸輸新報』も『交通新聞』と改称し、『交通年鑑』と『交通技術』誌を発刊、1949(昭和 24)年の公共企業体日本国有鉄道の発足とともに『国有鉄道』・『国鉄線』の両誌を発刊しました。これらの雑誌はいずれも国鉄の機関誌として、1987 年の国鉄改革まで継続発行されました。この間、鉄道創業 80 周年記念事業として国鉄が編纂した『鉄道辞典』や、100 周年記念に国鉄が編纂した『日本国有鉄道百年史』も、同会が刊行しました。

1987(昭和 62)年の国鉄改革にあたり、新聞・雑誌の刊行や書籍出版事業は新たに発足した株式会社交通新聞社に引き継ぎ、当会は交通図書賞の選定表彰など、非営利の公益事業に専念することとなり、2011(平成 23)年には公益財団法人交通協力会として新たな出発をしました。

電子図書館「戦中戦後の交通と国有鉄道」

交通関係の年次刊行物や、旧国鉄の機関誌類を電子復刻し、電子図書館に収蔵しています。既に『交通年鑑』・『日本国有鉄道監査報告書』・『国有鉄道』・『国鉄線』・『交通技術』・『鉄道辞典』を全冊収蔵し、今後『日本国有鉄道百年史』などを収蔵する予定です。

当会ホームページ <http://transport.or.jp> の電子図書館にアクセスし、ID・パスワードを入手すると、無料で閲覧することができます。

『鉄道百五十年史』編纂事業

あと 4 年、2022 年 10 月に鉄道創業 150 年を迎えます。この機会に『鉄道百五十年史』を刊行することが決まり、当会はこの事業の事務局となって、いま全力をあげて取り組んでいます。

『鉄道百五十年史』は本編 5 巻(各巻 800 頁)、資料編 1 巻とし、第 1 巻は創業から鉄道国有まで、第 2 巻は国有化から第二次大戦終結直後まで、第 3 巻は戦後復興期と高度成長期、第 4 巻は交通市場の変容と国鉄の経営危機、第 5 巻は 1987 年の鉄道改革から今日までを扱う予定です。国有鉄道・JR だけでなく民営・公営の鉄道を含む総合鉄道史を編纂し、これから半世紀にわたって鉄道史研究の基本的なレファレンスとして使われることを目指しています。近代経済史の泰斗で東京大学名誉教授の原朗先生を委員長とする編集委員会は精力的に議論を進め、すでに多数の分担執筆者も決まり、来年早々には本格的な執筆体制に入ります。

『新幹線 50 年史』『SHINKANSEN—The Half Century』の刊行

東海道新幹線開業 50 年(2014 年 10 月)にあたって当会が刊行した本書は、国交省、鉄道・運輸機構、JR 各社などの協力を得て作成したもので、新幹線の「正史」と言えるものです。

『SHINKANSEN—The Half Century』はその英語要約版で、いずれも多くの読者から好評を頂いています。

まだ若干の残部がありますので、お買い求めの上、ご愛用頂ければ幸いです。



団体名	「横浜市電 1156 号保存会」 (神奈川新聞社)	〒231-8445 Tel : 090-9015-3707 / 090-8036-2383 Email : yokohamashiden1156@gmail.com 担当者：齊藤 大起（さいとう ひろき） [ウェブサイトは準備中]
-----	------------------------------	---

■団体の趣旨

横浜市港南・磯子区の久良岐（くらき）公園に展示されている「横浜市電 1156 号」を修復・維持するとともに、毎月 1～2 回、車内を公開するイベントを開催しています。1156 号は 1952 年に製造され、横浜市電が 1972 年に全廃されるまで走り続けました。代表的な形式だった 1150 号型の最後の現存車両でもあり、貴重な存在といえます。車両を保存するだけでなく、停留場や架線など周囲の情景も再現し、往時を知る人たちへの聞き取り活動も並行して続けながら、「街に市電が走っていた頃」を伝える「よすが」を目指しています。



▲輝きを取り戻した現在の 1156 号



▲照明を点灯した夕方の姿

■保存の経緯

2010 年末、神奈川新聞の記者（齊藤）が、荒廃していた 1156 号が解体されるとの情報を聞きつけ、管理当局の横浜市に修復など保存活動を申し出たことがきっかけです。

当時は窓ガラスやドア、前照灯、尾灯、座席などの部品・機器類が全て失われ、とても哀れな姿になっていました。40 年近くにわたる屋外展示で風雨にさらされ劣化したことに加え、悪意ある人たちによる破壊、盗難などがその理由です。

時を同じくして、公園の近くに本社のある塗装業大手「サクラ」が、地域貢献の一環でボランティアによる修復作業に協力してくれることになり、横浜市環境創造局、サクラ、神奈川新聞社の 3 者で 1156 号の修復・保存を進めていくための覚書を締結しました。

修復作業は足場を組み、2 カ月を費やす大がかりなもので、失われていた窓ガラスやドアなどを極力再現。前後のライトや室内灯も点灯可能としました。座席は相模鉄道から寄贈していただきました。

さらに 2015 年には同局が車両周辺を大規模に改修し、擬宝珠のような飾り「ポールトップ」を載せた架線柱や、架線、それに電照式の停留場標識も新調しました。道路から発掘された市電のレールを車両の前後に埋め込むことで、わずかながら路線の“延伸”も実現しました。

夕方には車両や電停などに明かりがともり「まるで現役時代のような」との声をいただいています。



■横浜市電とは

1904（明治 37）年、民営の横浜電気鉄道として横浜市内に開業した路面電車。軌間 1372 ミリ。昭和 30 年代の最盛期には総延長 52 キロの路線を運行し、年間に 1 億 2 千万人を輸送したものの、道路の渋滞や国鉄根岸線の開業などの影響を受け、1966 年以降、順次廃止が進み、1972 年 3 月 31 日に全ての路線がバスに置き換えられ、営業を終えた。他事業者への譲渡車両はなく、現存するのは横浜市磯子区にある「市電保存館」の 7 両のほか、市内に 4 両が残るのみ。

◀窓ガラスやドア、ライト、部品などが全て失われ、荒れ果てていた 2011 年当時の 1156 号

団体名	新潟市新津鉄道資料館	〒956-0816 新潟県新潟市秋葉区新津東町 2-5-6 TEL 0250 (24) 5700 FAX 0250 (25) 7808 E-mail : railwaymuseum@city.niigata.lg.jp URL : http://www.ncnrm.com/ 担当者：水澤 喜代志
-----	------------	---

◆新津鉄道資料館概要

昭和58年、旧新津市が新津市鉄道資料館をオープンしました。平成10年4月、旧国鉄から鉄道職員研修所「新津鉄道学園」を買い取って改修し、2代目新津鉄道資料館としてオープンしました。平成17年に新潟市との広域合併により「新潟市新津鉄道資料館」と改名され、平成26年7月にリニューアルオープンしました。200系新幹線、C57形19号機蒸気機関車、485系特急形電車、DD14形液体式ディーゼル機関車、E4系新幹線、115系電車を静態保存しています。新潟・新津地域の鉄道を地元と共に最大限活用する施設として、鉄道産業を「鉄道文化」として発信していきます。



200系新幹線・SLC5719

◆施設概要

1. 位置 新潟市秋葉区新津東町2-5-6
2. 交通 信越本線新津駅下車バス5分。磐越自動車道新津ICより車で2分。
3. 建物 鉄筋2階建、延べ1,764㎡（屋外展示場除く）
5. 展示品 新潟・新津ゆかりの鉄道資料約800点
6. 特色 実物車両6両展示、鉄道運転シミュレータ、ミニSL（D51形1/5スケール）など。

◆平成30年度事業

- ①7月14日～9月3日 特別展「新潟・駅図鑑一駅と鉄道の120年」
新潟駅の高架駅化に伴い県内の主要駅を紹介しました。毎週日曜日、学芸員による解説会を開催しました。
- ②7月28日～29日 サンクスフェア2018 新津鉄道資料館を会場に鉄道祭を実施しました。
- ③8月 特別展記念講演会
鉄道史学会会員の長岡大学松本和明教授をお迎えし、新潟港と鉄道駅の関係についてお話いただきました。
- ④まちなか鉄道資料館
新津商店街に新津鉄道資料館所蔵大型資料を設置・展示しています。（C57動輪・踏切警報機 ほか）
- ⑤巡回バス事業 新津駅～にいつ鉄道商店街～新津鉄道資料館
- ⑥鉄道模型走行会 新潟市内の鉄道模型愛好団体と共催し、年5回開催。
- ⑦4月～10月 土日・祝日を中心にミニSL D51形(1/5スケール)を運行。
- ⑧その他 鉄道七夕、鉄道書初め、鉄道友の会新潟支部展示、車内公開 ほか

◆実物車両展示



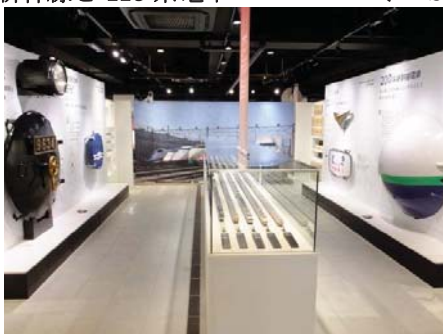
E4系新幹線と115系電車



ミニSL D51形(1/5スケール)



DD14形機関車と485系電車



鉄道の仕組みコーナー



雪との関わりコーナー

団体名	上松町 赤沢森林鉄道 (経済産業省「近代化産業遺産群」一部認定) (文化庁「日本遺産(Japan Heritage)」認定)	〒399-5603 長野県木曽郡上松町駅前通り 2-13 Tel : 0264-52-4804 Fax : 0264-52-1038 URL : http://www.avis.ne.jp/~hinoki E-mail : syoukan@town.agematsu.nagano.jp
-----	--	---

2018 年、赤沢森林鉄道は、
次の日程で運行しています。

○2018 年度運行日程

今シーズンは 4 月 28 日から 11 月 7 日まで
軌道整備日を除いて毎日運行しています。

【運行時間】

土曜・日曜・祝日・夏季及び紅葉シーズン
9 : 30 から 15 : 30 の 30 分毎に 1 便運行。
※夏季イベント期には 9 : 00 便を増発
※上記以外の平日は 10 : 00 から 15 : 00
までの 1 時間毎に 1 便運行。



【記念乗車券 (木曽ヒノキ製)】

【乗車料金】

通常時 : 大人 (中学生以上) 800 円 小人 (4 才から小学生) 500 円
夏季イベント期 : 大人 (中学生以上) 1,000 円
小人 (4 才から小学生) 700 円 } ※イベント参加料込み

【運行区間】

森林鉄道記念館前から丸山渡停車場 往復約 2.2 k m 約 25 分



【保存車両 SL ボールドウィン】



【赤沢森林鉄道 AFT-01】

伊豆修善寺 虹の郷

〒410-2416
 静岡県伊豆市修善寺4279-3
 (一財)伊豆市振興公社
 TEL0558-72-7222
 FAX0558-72-7133
 E-mail nijinosato2@vcs.wbs.ne.jp
 URL <http://www.nijinosato.com/>



虹の郷ロムニー鉄道は一周2.4kmの周回線路にロムニー駅とネルソン駅を配置。
 園内移動遊覧鉄道としての営業をおこなっております。

入園料金

大人	(中学生以上)	1200円
小人	(4歳～小学生)	600円

乗車料金

大人	(中学生以上)	400円
小人	(4歳～小学生)	200円

ロムニー鉄道の特徴

イギリス製蒸気機関車2両と
 ディーゼル機関車2両の計4両
 を、日替わりで運行しています。

2編成営業時には蒸気機関車
 とディーゼル機関車がすれ違う
 タイミングがありまして、虹の郷
 ロムニー鉄道の見どころとなっ
 ております。晴れた日には車窓から
 富士山を望む区間があり、お客様
 から喜びの声を頂けることも
 あります。ぜひ、ご来園頂きまして
 富士山の見えるロムニー鉄道の
 旅をお楽しみ下さいませ。



機関庫 全景写真

保有車両情報

蒸気機関車	NORTHRN ROCK II CUMBRIA	1-C-1	1989年製造
		1-C-1	1992年製造
ディーゼル 機関車	JOHN SOUTHLAND II CITY OF BIRMINGHAM	B - B	1988年製造
		0-C-0	1992年製造
展示機関車	ERNEST W TWINING C 1 1 (金沢工業大学貸与)	2-C-1	1949年製造
		1-C-2	1996年製造

団体名	大井川鐵道株式会社	〒428-8503 Tel : 0547-45-4111 Fax : 0547-45-4115 URL : oigawa-railway.co.jp Email : hiroyuki.sakashita@daitetsu.jp 担当者 : 坂下裕之
-----	-----------	---

本年度も6月9日から10月14まで、機関車トーマス号・ジェームス号の運転をおこなっており多くのお客様で賑わっております。
又、黒SLや電気機関車の魅力を伝えるために、各種イベントを計画しております。



■名古屋市 リニア・鉄道館

Information

○入館料

大人 1,000 円 (団体 800 円)
 小中高生 500 円 (団体 400 円)
 幼児 (3 歳以上) 200 円 (団体 100 円)
 ※障がい者手帳をお持ちのお客様と付添の方
 大人 500 円、高校生以下 200 円

○休館日

毎週火曜日 (祝日の場合は翌日)
 年末年始 / 12 月 28 日 ~ 1 月 1 日
 (※春・夏・冬休みやGWは無休)

○展示

鉄道車両 39 両 + バス 1 台、鉄道のしくみコーナー、
 超電導リニア展示室、歴史展示室、鉄道ジオラマ、
 シミュレータ、シアターなど



【高速鉄道技術の進化が一望できる車両展示エリア】

【2018 年の記事】

○車内特別公開

新幹線試験電車 (300X) (1/2 ~ 2/28, 10/1 ~ 12/27) モハ 52 形式、モハ 63 形式 (10/1 ~ 12/27)

○第 7 回企画展 (3/19 ~ 9/24)

「東海道新幹線の誕生 ~ 0 系新幹線の開発から改良まで ~」

○ジェイアール東海バス 30 周年記念展示 (10/17 ~ 1/14)

○映像シアター 新コンテンツの公開 (2017/12/6 ~)

『ドクターイエローの軌跡 The History of Dr. Yellow』

○運転台特別公開

0 系 (3/1 ~ 5/7,)、100 系 (11/5 ~ 12/3)
 300 系 (9/12 ~ 11/4)、700 系 (1/10 ~ 2/28, 5/9 ~ 6/4, 7/11 ~ 9/10)
 クハ 381 の車内公開 (6/6 ~ 7/9)

○車両ガイドツアー

「新幹線の走るしくみ、止まるしくみ」(2017/12/23 ~ 1/8)、「在来線シミュレータ「運転」教室」(1/13 ~ 2/25)、「ドクターイエローの秘密を探ろう！」(3/21 ~ 4/9)、「0 系の秘密を探ろう！」(4/28 ~ 6/3)「新幹線のひみつをさぐろう！「風のちからと新幹線のかたち」(7/1 ~ 9/2)「新幹線車両の技術と進化について」(7/21 ~ 9/2)

○お仕事紹介

在来線運転士 (4/28, 29)、在来線駅係員 (6/2, 3)、在来線車掌 (6/16, 17, 10/13, 14)
 新幹線運転士 (1/13, 14, 8/4, 5, 10/27, 28)、新幹線車掌 (7/7, 8, 14, 15, 9/22, 23, 29, 30)
 パーサー (10/6, 7)、新幹線車両所社員 (5/4, 5, 11/3, 4)、新幹線電気関係社員 (2/17, 18, 5/4)

○各種イベント

みどころガイド (1/2 ~ 12/3)
 クイズラリー (1/2 ~ 12/3)

新幹線 100 系前頭オオイ特別開放 (~ 2/25 の土休日) 新幹線 0 系前頭オオイ特別開放 (3/3 ~ 6/3 の土休日) 新幹線 700 系前頭オオイ特別開放 (6/9 ~ 8/26 の土休日)

○その他

シンカリオン企画展 (10/3 ~ 11/26) こどもパスポートの発売 (3/15 ~ 8/31 小中高生 1,000 円、幼児 400 円) 東海音楽クラブコンサート (4/16, 10/7)、パトカーと白バイ展示・愛知県警察音楽隊 (8/11) 50,000 人の写真展 2018 (8/18 ~ 8/26)



700 系前頭オオイ特別開放

団体名	公益財団法人 博物館 明治村	〒484-0000 愛知県犬山市内山 1 番地 Tel : 0568-67-0314 Fax : 0568-67-0358 URL : http://www.meijimura.com/ Email : masataka.kondou@nrr.meitetsu.co.jp 担当者：近藤 雅隆
-----	--------------------------	--

<蒸気機関車>

- (株)ジェイアール西日本テクノスによる車両点検を 3 ヶ月に 1 回実施。
- SL12 号と SL9 号が 10 日間くらいの間隔で交互に動態展示を実施。
- ボイラ検査を SL12 号は 9 月 16 日 (木)、SL9 号は 11 月 16 日 (木) に実施。
- 3 月～8 月までメンテナンス等の為、毎週月火を運休。

<ハフ 11・13・14>

- (株)ジェイアール西日本テクノスによる車両点検を 3 ヶ月に 1 回実施。
- (株)ジェイアール西日本テクノスによるハフ 13 及びハフ 14 の部分塗装を実施

<京都市電>

- (株)ジェイアール西日本テクノスによる車両点検を 3 ヶ月に 1 回実施。

<設備工事・点検>

- 名鉄 E I エンジニア株式会社による電路・電気設備点検を半年に 1 回実施。
- 矢作建設 (株) による軌道点検整備を半年に 1 回実施。

<蒸気機関車及び京都市電の動態展示>

蒸気機関車※SL9 号と SL12 号のどちらかが 3 両の客車を牽引します。

片道 大人 500 円 小学生 300 円

京都市電※1 号車と 2 号車のどちらか 1 両が運行します。

1 乗車 大人 500 円 小学生 300 円

SL 市電一日券

乗り降り自由 大人 700 円 小学生 500 円



SL9 号・SL12 号



京都市電

NPO 法人 神岡・町づくりネットワーク 活動報告

〒506-1147

岐阜県飛騨市神岡町東雲 1327-2

電話:090-7020-5852 FAX:0578-82-6677

Mail : info@rail-mtb.com 担当 : 田口

旧車両 KM-101・151 の運転体験を行いました。

2017年の夏から2018年の初夏にかけてKM-101と151の運転体験事業を8回行いました。基本的には検修線の約120mを使用し、冬季やレールマウンテンバイクの定休日には本線を使用した少し長めの距離を体験していただきました。（写真は6月の本線体験）



事業開始当初には鉄分の多い事業に不安もありましたが、宮崎県のあまてらす鉄道様を参考にさせて頂きスタートしました。心配していた車両と軌道の状態もまずまず良い状態をキープしております。また、たくさんの素敵な体験運転士さんとお出会ったことも、この事業の成果と思っております。

現在は諸事情により次回開催は未定です。ご了承ください。

レールマウンテンバイク 夢の「渓谷コース」がスタートしました！

2007年度より創業したレールマウンテンバイクの悲願でもある漆山（うるしやま）渓谷コースの営業を開始しました。旧神岡鉄道時代から景色が良いことで知られていた沿線にはPC橋や鉄橋があり、スリルと渓谷美にあふれたコースとなっております。



（右写真：第1 漆山 PC 橋・上写真：第2 漆山鉄橋）

既存のコースは「まちなかコース」という名前になり、長いトンネル内でのイルミネーション企画「トンネルリエ」を地元の高校生と開発しました（写真ですと真っ暗になるので割愛させていただきます）。

旧長浜駅舎・長浜鉄道文化館・北陸線電化記念館の総称



〒526-0057 滋賀県長浜市北船町1番41号(JR長浜駅から徒歩3分)
TEL.0749-63-4091 FAX.0749-64-0396
<http://kitabiwako.jp/tetsudou/>

名誉館長 米山 淳一(日本鉄道保存協会 事務局長)
館長 今井 克美(公益社団法人長浜観光協会 事務局長)
担当者 梅園 いつ子(公益社団法人長浜観光協会)

●旧長浜駅舎

明治15年3月10日、長浜～敦賀の北陸線始発駅として開業。昭和58年に鉄道資料館として開館。現存する日本最古の駅舎です。

●長浜鉄道文化館

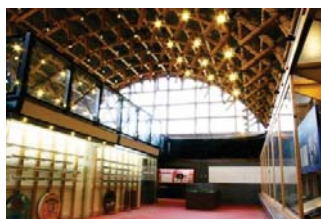
公益財団法人ナショナルトラストが、まちづくり事業の活動支援の拠点「ヘリテージセンター」として2000年10月に設置・開館しました。長浜の鉄道文化を後世に伝える資料館として常設展示の他、企画展示も行っています。建築家・吉田桂二氏設計で天井はヨーロッパのターミナル駅を模した木造アーチづくりです。

●北陸線電化記念館

鉄道文化館と同様の趣旨で2003年7月に開館しました。機関車庫をイメージした建物で吉田桂二氏設計によるものです。D51形蒸気機関車と日本で唯一残る交流電気機関車のED70の1号機を展示しています。



第1回鉄道記念物の旧長浜駅舎



欧州ターミナル駅を模した鉄道文化館



ED70 1号機



柳ヶ瀬隧道に掲げられていた石額

平成29年度 事業実績

年間入館者数 **48,295人** (前年度54,707人)

【企画展】

■鉄道きっぷワンダー展～乗車券のいろいろ～
【2017/4/29～7/2】



■夏季企画展「おもちゃ鉄道と遊覧鉄道展」
【2017/7/5～9/30】



■慶雲館130周年・琵琶湖汽船(鉄道連絡船)130(135)周年・旧長浜駅舎135周年の軌跡を見る企画展「今に生きる歴史的駅舎写真展」【2017/10/21～12/28】



■新春企画展『絵すごろくの世界～見る・知る・遊ぶ』
【2018/1/10～4/22】



平成30年度 事業予定

【企画展】

■さよならポニー～SL北びわこ号C56形蒸気機関車の軌跡～

4月27日～ 5月27日

■ビジネス特急こだまとブルートレインあさかぜ誕生60周年特別展

7月1日～ 9月30日

■明治150年企画「どっこい生きてる明治の鉄道施設」

10月1日～12月28日

◇鉄道の日記念 D51とED70機関車清掃

10月14日

公益社団法人長浜観光協会

〒526-8501 滋賀県長浜市八幡東町632番地

TEL.0749-65-6521 FAX.0749-64-0396

E-mail. kankou@city.nagahama.shiga.jp <http://kitabiwako.jp/tetsudou>

あそびに
来てね!



団体名	長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会 (事務局：敦賀市産業経済部観光振興課)	〒914-8501 福井県敦賀市町中央2丁目1番1号 Tel：0770-22-8128 Fax：0770-22-8184
-----	--	---

○協議会概要

長浜市・敦賀市・南越前町に現存する明治時代の鉄道遺産など、近代化遺産を活用した広域的な観光連携を推進するため、平成29年10月19日に、長浜市・敦賀市・南越前町の3市町において連携協定を結び、協議会を設立しました。

協議会では、明治15年に日本海側で最初に開業した長浜ー金ヶ崎（敦賀）間の鉄道の歴史や、敦賀ー今庄間の急勾配の峠越えなどのストーリーを活かし、県境をまたいだ広域観光を推進していきます。

○平成29年度事業実績

- ① 10月19日（長浜市長浜鉄道スクエア）
 - ・長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協定締結および協議会設立総会
- ② 12月2～3日（敦賀市きらめきみなと館）
 - ・「つるが鉄道フェスティバル」に投炭練習機や石額拓本の出展
- ③ 12月2日（3市町）
 - ・SL型マイクロバスによる3市町の鉄道遺産を巡る鉄道遺産ツアーの開催
- ④ 12月26日（3市町）
 - ・3市町のボランティアガイドを対象とした鉄道遺産に関する現地研修会の開催
- ⑤ 3月18日（敦賀市きらめきみなと館）
 - ・鉄道遺産活用シンポジウムの開催
米山淳一氏基調講演
鉄道遺産をいかした事例紹介（NPO法人 愛岐トンネル群保存再生委員会理事長 村上真善氏、NPO法人 碓氷峠歴史文化遺産研究会理事長 萩原豊彦氏）
パネルディスカッション「光り輝く鉄道遺産はみんなの宝」
- ⑥ 3月中
 - ・3市町共通のガイドブック、ポスター、のぼりの作成



■2017年度の活動経過

2017年度は、関東鉄道竜ヶ崎線の竜ヶ崎駅(茨城県龍ヶ崎市)構内で倉庫として残されていた1900(明治33)年製造の旧関西鉄道458号貨車(1907年:鉄道省テワ1009号鉄製有蓋貨車→1921年:龍崎鉄道テワ1→1928年:龍崎鉄道テ1→1944年:鹿島参宮鉄道テ1)を譲受した。

同車は、現在は車輪やブレーキ装置は失われているが、日本で現存する鉄道貨車では最古級であり、多数の貨車を収蔵する当館としても最古となる。また、製造は関西鉄道四日市工場であり、三重県にはゆかりの深い貨車の里帰りとなった。



貨物鉄道博物館へ搬送される
旧関西鉄道貨車
2017年9月21日

■2018年度の活動計画

2018年度は、9月の開館15周年に合わせて、11月4日(日)開館日に修復車輛披露イベント、三岐鉄道三岐線でスタンプラリー・ヘッドマーク付貨物列車運行などの記念事業を行う。



ト15 木板交換修復中
2018年8月4日

◆2018年度定期開館日

2018年4月1日(日)、5月6日(日)、6月3日(日)、7月1日(日)、8月5日(日)、9月2日(日)、
10月7日(日)、11月4日(日)、12月2日(日)、2019年1月13日(日)、2月3日(日)、3月3日(日)

団体名	西日本旅客鉄道株式会社	〒530-8341 Tel : 06-6375-2176 URL : http://www.westjr.co.jp/ (JR 西日本) http://www.kyotorailwaymuseum.jp/ (京都鉄道博物館) Email : hideaki-iwakura1@westjr.co.jp 担当者：岩倉 英明
-----	-------------	---

西日本旅客鉄道株式会社（JR 西日本）が所管する京都鉄道博物館は、開業2年目の2017(平成29)年10月9日に累計入館者200万人を達成しました。多くのお客様のご来館、誠にありがとうございました。



京都鉄道博物館では、本物の蒸気機関車が牽引する「SLスチーム号」や「引込線車両展示」、現役のJR社員が子供達に鉄道のお仕事を解説する「鉄道おしごと体験」など、楽しく学べる企画がいっぱいです。加えて「運転シミュレータ」や「鉄道ジオラマ」も大人気！

(SLスチーム号)



(EH800 形電気機関車)



青函トンネルで活躍する電気機関車を JR 貨物様からお借りし、引込線に展示 (2018/1/20~28)

(運転シミュレータ)



(新旧 TWILIGHT EXPRESS)



TWILIGHT EXPRESS 瑞風の運行開始1周年を記念し引込線展示 (2018/6/16、17)

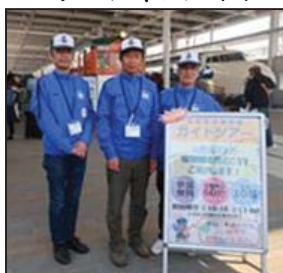
(鉄道ジオラマ)



(保線社員による鉄道おしごと体験)



鉄道OBによる
ボランティアガイド



2019 年春開業予定の「梅小路京都西駅」



新駅イメージ (南東側より)

国鉄や当社OBによる館内ガイドも好評！ また、2019 年春には、京都鉄道博物館近くに新駅「梅小路京都西駅」が開業。ますます便利に！

JR 西日本では、京都鉄道博物館を中心に、当社エリア内の鉄道遺産を保存・管理し、これらを活用する、鉄道文化活動を推進しています。



(津山まなびの鉄道館：津山市)



(旧大社駅舎：出雲市)



(旧長浜駅舎：長浜市)

団体名



公益財団法人
交通文化振興財団

〒 532-0011 大阪市淀川区西中島 4 丁目 2-26
天神第一ビル 1004 号室
Tel : 06-6309-5113 Fax : 06-6309-5114
URL : <https://tcpf.or.jp/>
担当者：事務局交通資料調査センター

デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」を開設しました

当財団事務局の交通資料調査センターでは、平成 30 年 4 月 2 日より、デジタルアーカイブ「交通文化振興財団デジタル資料館」の公開を開始しました。本アーカイブは、同センターが所蔵する資料の一部を web 上でご紹介するもので、写真を中心に、乗車券類やパンフレット類など約 3,000 点の資料を公開しています。今後も資料のデジタル化作業の進捗に合わせて、掲載資料の追加を実施し、まずは 1 万点の掲載を目標としています。ぜひご覧下さい。(当財団のホームページよりお入りいただけます)

本アーカイブの作成にあたっては、クラウドファンディングを実施し、鉄道ファンの皆様をはじめ、265 名の方々より合計約 470 万円のご支援を頂きました。ご支援いただきました皆様にあらためてお礼申し上げます。



【資料閲覧コーナーの開設】

事務所内に交通資料調査センターで所蔵する書籍を閲覧頂けるコーナーを開設しました。工事史や年史から雑誌まで目的に合わせてご利用いただけます。(ご利用には事前申し込みが必要となります。詳しくは当財団のホームページをご覧ください)



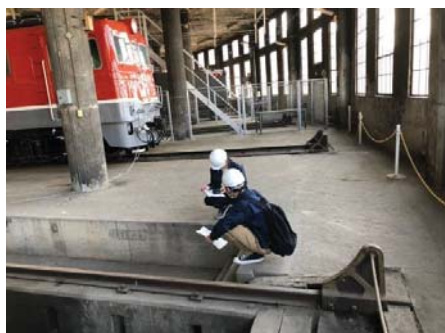
【交通資料の収集・保存活動】

交通に関わる歴史的・文化的資料類の収集・保存活動を行い、交通資料の未来への継承を進めています。資料の寄贈も受付けておりますので、ご一報いただけましたら幸いです。



【交通に関わる文化財の調査活動】

交通に関わる歴史的・文化的事物の現地調査等を実施し、現状を写真や記録として後世に伝える活動を進めています。行政機関や各種団体からの委託による調査も実施しています。



【所蔵資料のデジタルアーカイブ化】

当財団が所蔵する資料類について整理・登録と同時にデジタル化し、「交通文化振興財団デジタル資料館」での公開を進めています。



～皆様からのご寄附が、交通の歴史と文化を未来に伝える大きな力となります～

上記の活動をはじめ、交通資料調査センターの活動は皆様からのご寄附により支えられています。交通の歴史・文化を着実に未来に継承していくため、皆様からのご支援をお願い申し上げます。

ブログ、facebook、twitter で情報発信しています。ぜひご覧ください！

交通文化振興財団



団体名



加悦SL広場

宮津海陸運輸(株)

〒629-2422 京都府与謝郡与謝野町字滝941-2

TEL 0772-42-3186 FAX 0772-42-5300

URL <http://www.kyt-net.jp/kayaslihiroba/>

近況

■ DB201ディーゼル機関車修繕が完了致しました。

平成30年8月 加悦SL広場 園内にて



修繕作業 機関庫(修理車庫)にて

DB201ディーゼル機関車(町指定文化財)

戦後、油事情が好転してきた事を受けて、昭和28年に新造購入しました。加悦鉄道では唯一、新車で購入したディーゼル機関車です。10tという小型車両であり、横から見た姿が鍋の蓋のような形をしていた事もあり製作会社の森製作所の名前にちなんで、「森ぶた」との愛称で慕われてきました。本来であれば、10t型1号機の為、DB101となると、先に加悦鉄道に入線していたキハ101ディーゼルカーと混同をさけるために201号となった経緯があります。搭載されたエンジンは三菱日本重工製であり、同社のエンジンを数回、換装した記録が残っています。昭和47年頃から機関不調が続いた為、昭和49年に休車となりました。平成11年にNPO加悦鉄道保存会殿と共同作業により、動態復元に成功し、現在も催事などで客車を牽引する元気な姿をご覧ください。現在のエンジンは三菱製DB7A型。



- KD-4塗装作業 関西学院大学 鉄道研究会メンバーの皆さんに作業参加頂きました。ありがとうございました。
- TMC100BSモーターカー、ヨ2047車掌車、ハ10客車 など修繕中



KD-4



TCM100BS



ヨ2047



ハ10

■ 平成29年11月SL広場「周年祭」 及び

平成30年5月「初夏の加悦鉄道まつり」を開催

■ 平成30年度 SL広場「周年祭」 平成30年11月初旬 開催予定

※再現列車乗車会ほか、与謝野町近隣団体等との連携イベント「滝・金屋地区 秋の大感謝祭」共催
今後も車両等の修復を通じ、加悦鉄道の歴史・鉄道文化遺産の保存維持に取り組んで参ります。

特定非営利活動法人

加悦鐵道保存会

〒629-2403

京都府与謝野町加悦433番地 旧加悦鐵道加悦駅舎

TEL/FAX 0772(43)0232

HP <http://kayatetsu.web.fc2.com/>

■2017年10月～2018年8月までの主な活動



「周年祭」「初夏の加悦SLまつり」
『加悦鐵道再現列車』を運転



加悦鐵道資料館にて
「懐かしの写生大会応募作品展」開催



日本遺産観光ガイド研修を
加悦SL広場と加悦鐵道資料館で実施

○ 2018年8月現在、会員数は43名、年齢は10歳から78歳と幅が広いですが、自分が出来る範囲内で楽しみながら活動しています。

○ ホームページのご案内
より詳しい作業状況やイベント情報、オリジナル商品の情報が満載です。

<http://kayatetsu.web.fc2.com/>



関西学院大学 鐵道研究会
夏季合宿受入



DB201ディーゼル機関車
整備作業に協力、整備を終え出場

片上鉄道保存会



【当会の概要】

岡山県美咲町旧吉ヶ原駅を中心に主に活動している団体です。

会員分布は埼玉県～福岡県にあり、毎月の展示運転では1～3両編成を組み、吉ヶ原～黄福柵原駅間にて毎月第一日曜日に展示運転を実施しています。

タブレット閉塞方式、各駅での増解結、臨時増発を行うことで需要に則した運用を行っています。25周年を超え、本年の活動は穏やかです。



【当会の抱える現在の課題】

- ・各車の老朽化が進んでいるため、対策を行っている
- ・第一種機械連動装置の復旧(吉ヶ原駅 片上方)
- ・電気転轍機の運用と軌道回路設置(常設電路延伸中)
- ・保安システムの運用(特殊発行信号機・列車自動停止装置)
- ・軌道保守 軌道精度向上/黄福柵原駅末端併用軌道化 20m延伸
- ・吉ヶ原 花見踏切 N50 合成枕木化工事 2期目
- ・地上電源回路の常設化/夜間運転対応設備拡充(照明・保安)
- ・配置人員合理化推進 人的資源の教育・システム習熟度向上

【本年度概況】

電路を中心とした災害への備え。仮設設備から常設化への工事を主に実施しております。

落雷等への電源事情強化、周辺災害時の地域の取り組みとの連携をはじめ、芸術祭などへの参画、地域経済との協調。地域生産物のPRを拡充。年間14日の展示運転を実施、県内外/諸外国より安定して約3000人の来訪があります。

【本年達成したこと】

- ・レトロリレーバス2018からの20列車接続運転
- ・黄福柵原駅 着発線 出発／場内信号常設化 (建柱・トラフ内配線化)
- ・会外の方が参加できる環境で DD13 を使用して軌道装置動力車講習実施
- ・美咲国際芸術祭参画
- ・吉ヶ原第7踏切遠隔制御化 人員削減と合理化達成

【今後の課題】

- ・車両と設備塗装 延命対策 キハ702推進軸修理他、技術的課題の克服。
- ・分岐器への照査・鎖錠回路を2基→5基へ拡充し、保安性を向上する。
- ・活動環境整備・ボラバイトの起用
- ・三江線をはじめとした中国地方活動団体との連携・地域連動化



古枕木や余剰部品で臨時改札を設置



レトロリレーバス 2018 で関東方面との接続を図り、11月車検満了を前に最後の力走をしている中鉄北部バス日野 RJ レインボー

若桜駅を元気にする会

〒680-0701

鳥取県八頭郡若桜町若桜801-5

若桜町役場ふるさと創生課内

TEL0858-82-2231 FAX0858-82-0134

e-mail: furusato@town.wakasa.tottori.jp

2018年度の取り組み

蒸気機関車(C12-167)やディーゼル機関車(DD16-7)の運転体験、トロッコ列車(元長野電鉄無蓋車ト6)の乗車体験、旧国鉄12系客車(ホ12-9、スロ12-3、スロ12-6)を団体客の食事処、休憩場所として提供、ピンクSLなどの各種イベントに取り組み、若桜駅周辺は多くの観光客で賑わっています。

また、平成30年3月には、水戸岡鋭治氏デザインの観光列車「昭和」の運行により、若桜駅の賑わいは更に増しています。

若桜駅を元気にする会では、若桜駅構内の美化清掃活動、駅周辺で開催されるイベントへの協力などにより、若桜駅と沿線地域の振興に取り組んでいます。



若桜鉄道 若桜駅

【SL・DL運転体験】

場 所: 若桜駅構内 SL走行線

内 容: 実務講習

(運転取扱及び車両の構造を図面、写真で講習)

指導講習(主任運転士による見本運転 1往復)

体験運転(教官がついての実車運転 2往復)

料 金: 10,000円～

開催日: SL 4・6・8月の第3土曜日・10月の第4土曜日

DL 5・7・9・11月の第3土曜日

その他: 事前のお申し込みが必要です。詳しくは若桜鉄道(株)にお問い合わせください。



SL (C12-167) 及び転車台

【SL走行日】

場 所: 若桜駅構内

料 金: 入構料300円、トロッコ乗車体験200円

開催日: 4月～11月の第2・4日曜日、

5月のゴールデンウィーク、お盆



DL・12系客車



ピンクSL・観光列車「昭和」

～ 今後の取り組み ～

若桜駅構内の美化清掃活動、駅周辺で開催される各種事業への協力など沿線地域の活性化に積極的に取り組むとともに、蒸気機関車やディーゼル機関車、12系客車を活用した観光列車の運行実現に向け、関係機関との連携を強化し、調査・研究・要望活動を継続して行います。

また、耕作放棄地等を活用し、鉄道沿線に花を植える活動を予定しています。

団体名	山口線 S L 運行対策協議会	〒753-8501 山口県山口市滝町 1 番 1 号 山口県観光プロジェクト推進室内 Tel : 083-933-3204 Fax : 083-933-3179 URL : http://www.c571.jp/ Email : c571@c571.jp 担当者：西山 洋史
-----	-----------------	---

◆ S L 「やまぐち」 号の概要

〔平成 30 年運転期間〕

平成 30 年 3 月 24 日～12 月 24 日の土日祝日を中心に運行
(92 日間)

〔運転区間〕

新山口駅（山口県山口市）⇄津和野駅（島根県津和野町）

※ 1 日 1 往復

〔運転時間〕

新山口駅：10 時 50 分発～津和野駅：12 時 59 分着

津和野駅：15 時 45 分発～新山口駅：17 時 30 分着



【近況報告】

◆ 2018 年 ブルーリボン賞受賞

幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーンの開催に併せて、平成 29 年 9 月 2 日にデビューした S L 「やまぐち」 号の 35 系客車が 2018 年ブルーリボン賞を受賞しました。

新客車は、S L 全盛期の昭和初期から戦後に使われていた客車をベースに、最新技術を取り入れてレトロ感と快適性を両立。蒸気機関車を永続的に運行するための一つの方向性を示した。と評価されました。



◆ C 5 6 形蒸気機関車の山口線最終運行

「ポニー」の愛称で親しまれた C 5 6 形蒸気機関車が平成 30 年 5 月 6 日で山口線での最後の運転となったため記念イベント「ありがとう C 5 6」を開催しました。

5 月 5 日は、D 5 1 と C 5 6 による重連で S L 「やまぐち」 号を運転。5 月 6 日は、S L 「やまぐち」 号と S L 「ありがとう C 5 6」 号の行違い運転実施。J R 山口線沿線や主要駅では、地元住民や多くの鉄道ファンで賑わいました。



◆ S L ギャラリーの開催

S L 「やまぐち」 号への理解を深めていただくため、S L ギャラリーを山口市と津和野町でそれぞれ開催し、平成 30 年 5 月 6 日に山口線から本線運転を引退した「C 5 6（シゴロク）」の山口線ラストランに密着した舞台裏などを映像で紹介したり、汽笛などの S L サウンドの聴き比べ体験や S L に関わる貴重なコレクションを展示しています。



愛媛県西条市

鉄道歴史パーク in SAIJO

〒793-0030

愛媛県西条市大町 798-1

TEL0897-47-3855 FAX0897-53-6200

鉄道歴史パーク in SAIJO

検索



「四国鉄道文化館へようこそ」

ご来館50万人達成！

愛媛県西条市の JR 伊予西条駅隣にある**四国鉄道文化館**では、平成 19 年 11 月に開館以来、平成 30 年 7 月で、ご来館者数 50 万人を達成いたしました。お子様との初めての遠出で、高知県から来られたファミリーに、館長から記念品が手渡され、来賓の JR 四国・愛媛企画部長、伊予西条駅長らと共に、記念のクス玉開花を行いました。今後も、県内外の方々から愛される『四国鉄道文化館』を益々盛り上げていきます。たくさんの方々のご来場を、心よりお待ちしております。



四国鉄道文化館・北館にて

第 4 代国鉄総裁・十河信二氏ゆかりのまち「西条市」

「新幹線の生みの親」とも言われる十河信二氏は、西条市長も務めた「名誉市民」でもあります。市ではパーク内に「十河信二記念館」を整備し、「夢の超特急」東海道新幹線の開通に尽力した氏の功績と、人間的な魅力を紹介しています。



十河信二氏胸像

<11/23. 24. 25 鉄道フェスタ 2018>を開催！

四国鉄道文化館では、年間を通して、楽しい鉄道イベントを開催しています。特に、11/23・24・25 の 3 日間は「鉄道フェスタ」として、JR 四国の協力のもと、「おさんぽにゃんよ」の車両特別展示をはじめ、ミニSL運転など、様々なイベントを企画しています。ぜひ、四国**鉄道文化館**“てつぶん”へお越しください！！



【鉄道歴史パーク in SAIJO】

JR 伊予西条駅隣の「鉄道歴史パーク in SAIJO」。パーク内には「四国鉄道文化館 北館」「四国鉄道文化館 南館」「十河信二記念館」「観光交流センター」の 4 つの施設があります。

○開館時間：9 時～18 時（最終入館 17：30） ○休日：水曜日（観光交流センターは無休）

○入館料：（四国鉄道文化館 両館共通）大人 300 円、小中学生 100 円、幼児無料、各種割引有

馬路村 や な せ 魚梁瀬森林鉄道

〒781-6202

高知県安芸郡馬路村大字魚梁瀬 10-11

馬路村役場魚梁瀬支所

TEL : 0887-43-2211 FAX : 0887-43-2208

E-mail : yanase@vill.umaji.kochi.jp

URL : <http://www.umajimura.jp/>

古くから高知の林業は栄えてきました。県内の多くの木材が朝廷奉納や幕府献上として活用されていた記録が古い文書に残されています。

特に銘木、魚梁瀬杉で知られるように森林資源に恵まれた馬路村では、木材搬出のため、明治44年に、国内3番目の森林鉄道として、馬路から田野間を結ぶ森林鉄道が開通しました。その後、馬路から魚梁瀬まで延長され、大正6年には本線終点の石仙まで軌道が延びました。やがて奈半利川沿いにも軌道が敷かれるようになり、総延長250kmといわれる県内最大級の森林鉄道となりました。

しかし、昭和32年、魚梁瀬ダム建設に伴い森林鉄道の廃止が決定しました。33年から軌道の撤去がはじまり、38年に安田川線の撤去が完了し、惜しまれながら廃線されましたが、現在でも、当時の面影を残す隧道や橋梁跡などが点在し、人々の生活の中に残っています。

その繁栄を遂げた魚梁瀬森林鉄道の遺産として、平成21年に橋梁や隧道など18箇所（馬路村内では4箇所）が国の重要文化財の指定を受けました。同年には経済産業省の近代化産業遺産群にも9基（馬路村内では2基）が認定されました。広域（馬路村を含めた中芸5ヵ町村）で国の重要文化財の指定を受けるのは、我が国初のことです。

平成29年度、森林鉄道の遺構が残る中芸5ヵ町村が申請した「森林鉄道から日本一のゆずロードへーゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化ー」が日本遺産に認定されました。

現在、貴重な観光資源としても活用され、林鉄は馬路村に多くの観光客を集めています。

●馬路森林鉄道

実物の3分の2の大きさに復元された森林鉄道。安田川支流の西谷川沿いに線路が敷かれ、約300mの周回コースを走ります。

◎場所／馬路村馬路 馬路温泉前

◎運行日／日、祝日 8時30分～16時

[8月は毎日運行]

◎料金／乗車大人400円など

◎お問い合わせ／馬路温泉

TEL:0887-44-2026



●魚梁瀬森林鉄道

魚梁瀬ダム湖が見下ろせる丸山公園に、復元された森林鉄道があります。指導を受けながら運転することができる「運転手体験」メニューもあります。

◎場所／馬路村魚梁瀬 丸山公園内

◎運行日／日、祝日 10時00分～12時、13時～15時30分

[8月は土曜も運行]

◎料金／乗車大人400円、運転体験1,000円など

◎お問い合わせ／馬路村役場魚梁瀬支所

TEL:0887-43-2211



北九州線車両保存会

KITAKYUSHU LINE TRAM SOCIETY

お問い合わせ

〒818-0071

福岡県筑紫野市二日市西3丁目12-1-2F

080-6412-1666 代表 手嶋 康人

E-mail teshi729@yahoo.co.jp

FacebookID 350000081873979

2018年活動報告

148号 門司港レトロ3月中旬～11月末 毎週日曜公開

621号 324号 かしい花園毎週土日祝日公開



西日本鉄道北九州線621号（所有）香椎花園内レトロ電車パーク



西日本鉄道北九州線324号（所有）香椎花園内レトロ電車パーク



西日本鉄道北九州線148号（管理）門司港レトロ駐車場



西日本鉄道福岡市内線507号（所有）筑前山家駅構内（JRより借地）

課外活動



熊本電鉄様 5101全塗装



九州鉄道記念館様 581.481.キハ07全塗装



重要文化財 小坂鉦山事務所

日本鉄道保存協会

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 903 号
公益財団法人交通協力会 気付

電話: 03-6269-9808 FAX: 03-6269-9809

URL: <http://www.rpsj.jp>

Email: rpsj.tetsudo.hozon@gmail.com